

令和9年度

(2027年度)

学生募集要項

(総合型選抜)



長崎大学

NAGASAKI UNIVERSITY

令和8年7月

目 次

令和9年度総合型選抜の主な変更点（概要）	3
1. アドミッション・ポリシー	9
2. 教職課程を必修とする学生の実習に係る犯罪事実確認制度について	19
3. 募集人員・実施日程	20
4. 出願要件・選抜方法等	21
5. 出願手続	34
6. 第1次選考結果等について	39
7. 第2次選考の試験日時・試験場	41
8. 第2次選考の受験に際しての注意事項	42
9. 不正行為について	43
10. 試験場までの交通機関	44
11. 障がい等のある入学志願者との事前相談	46
12. 個別の入学資格審査	46
13. 長期履修制度	48
14. 合格通知書の発送	49
15. 入学手続等	49
16. 学生寮に関するご案内	50
17. 総合型選抜志願者の一般選抜等への出願	51
18. 問い合わせ先	51
19. 個人情報の取扱	51
20. 安全保障輸出管理について	51
21. 入試情報の提供	
(1) 個人成績	52
(2) 採点・評価基準	53
(3) 合否判定基準	55
(4) 令和8年度総合型選抜実施状況	56
22. パソコン必携制度のご案内	57
23. 出願書類作成上の注意事項	58
* 大学入学共通テスト指定教科・科目確認表（総合型選抜Ⅱ）	87

添 付 書 類 等 (59ページ～86ページ)

※ 実際の出願書類提出は、別途HPに掲載している様式を利用してください。
(URL : <https://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/internet/application/>)

1. 出願書類提出用表紙（全学部）
2. 「自己推薦書」記載要領（経済（総合型選抜Ⅰ）、工、歯、環境科）
3. 「自己推薦書」、「諸活動の記録」記載要領（多文化社会、水産、教育、経済（総合型選抜Ⅱ））
4. 共通様式
 - 自己推薦書 様式1（全学部）
 - 諸活動の記録 様式2-i, ii（多文化社会、教育、経済（総合型選抜Ⅱ）、水産）
 - 諸活動の記録 様式2-iii（多文化社会、教育、経済（総合型選抜Ⅱ）、水産）
 - 諸活動の記録 様式2-iv（教育）
 - 課題研究報告書（多文化社会：グローバル枠）
 - 課題レポート（教育学部：音楽・美術・技術・家庭 各様式）
 - 活動報告書（経済（総合型選抜Ⅰ）・環境科のうち、調査書を提出できない者）

長崎大学ホームページのトップ画面に表示されているチャットボットをご利用ください。入試に関する疑問や不安に、AIがわかりやすくお答えします。土日や夜間でも、いつでも利用できます。

【使い方】

知りたい内容をメニューから選ぶか、質問やキーワードを文字で入力してください。AI（人工知能）が自動で回答します。

長崎大学ホームページ

<https://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/>



令和9年度長崎大学入学者選抜方法等の主な変更点（概要）

【多文化社会学部】

出願要件の変更

総合型選抜Ⅰ（一般枠）の出願要件を以下のとおり変更します。

（旧） 次のいずれかに該当し、かつ、TOEFL iBT (Home Edition を含む。) 61 点以上、TOEFL ITP 500 点以上、TOEIC L&R 730 点以上、TOEIC L&R+TOEIC S&W 1000 点以上、実用英語技能検定（英検、英検 CBT 又は英検 S-CBT）準 1 級以上、IELTS 5.5 以上、GTEC（4 技能版）1140 点以上又は TEAP 334 点以上のいずれかのスコア・級を有し、合格した場合は入学することを確約できる者

1～8 略

（注 1） 略

（注 2） 外国語検定試験は公式スコア（TOEFL iBT (Home Edition を含む。) は Test Date スコアに限る。）を対象 (TOEFL ITP を除く。) とし、TOEIC IP は対象としない。

（新） 次のいずれかに該当し、かつ、TOEFL iBT (Home Edition を含む。) 従来スコアの場合は 61 点以上、総合バンドスコアの場合は 3.5 以上、 TOEFL ITP 500 点以上、TOEIC L&R 730 点以上、TOEIC L&R+TOEIC S&W 1000 点以上、実用英語技能検定（英検、英検 CBT 又は英検 S-CBT）準 1 級以上、IELTS 5.5 以上、GTEC（4 技能版）1140 点以上又は TEAP 334 点以上のいずれかのスコア・級を有し、合格した場合は入学することを確約できる者

1～8 略

（注 1） 略

（注 2） 外国語検定試験は公式スコアに限る (ただし、TOEFL ITP についてはこの限りではない。)。なお、TOEFL iBT (Home Edition を含む。) は Test Date スコアのみを対象とし、TOEIC IP 及び IELTS の One Skill Retake は対象としない。

【教育学部】

(1) 募集人員の変更

総合型選抜Ⅱにおいて、小学校教育コースの募集人員を変更（募集人員4人→8人）します。

(2) 出願要件、選抜方法等の変更

総合型選抜Ⅱ小学校教育コースの出願要件、選抜方法等を以下のとおり変更します。

学部・学科名	教育学部 学校教育教員養成課程	
募集人員	小学校教育コース	8人
出願要件	<p>技能系教科（音楽，美術，技術，家庭）に強い関心を持ち，卒業後は長崎県内の小中学校等において教職に就くことを強く希望する者のうち，大学入学共通テストで教育学部が指定した教科・科目を受験する者で，次のいずれかに該当し，合格した場合は入学することを確約できるもの</p> <p>（本学では，過去の大学入試センター試験及び大学入学共通テストの成績は利用しない。）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者 2. 特別支援学校の高等部又は高等専門学校第3年次を修了した者及び令和9年3月修了見込みの者 3. 外国において，学校教育における12年の課程を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 4. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者 5. 文部科学大臣の指定した者（ただし，国際バカロレア資格等については，令和9年3月31日までに取得見込みの者を含む。） 6. 高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（廃止前の大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和9年3月31日までに合格見込みの者で，かつ，18歳に達するもの 	
選抜方法等	<p>課題の提出物，自己推薦書，諸活動の記録，調査書，大学入学共通テスト，面接（課題の製作等のプロセスについての質問も含む。）の結果等を総合して合格者を決定する。ただし，第2次選考において，面接の得点率が20%未満の者は，大学入学共通テストの成績にかかわらず，不合格とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第1次選考 課題の提出物，自己推薦書，諸活動の記録，調査書等により，課題の提出物とその他を各5割の割合で評価し，選考を行う。 2. 第2次選考 第1次選考に合格した者に対して，面接（課題の製作等のプロセスについての質問も含む。）を課し，大学入学共通テストの成績と合わせて選考を行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">【大学入学共通テスト指定教科・科目】</p> <p>国 : 国</p> <p>数 : 「数Ⅰ」，「数Ⅰ，数A」 } から1（注） 「数Ⅱ，数B，数C」</p> <p>外 : 英，独，仏，中，韓から1</p> <p>情 : 情報Ⅰ</p> <p style="text-align: right;">[4教科4科目]</p> </div> <p>（注）数学を2科目受験している場合は，高得点科目を採用する。</p>	
その他	<p>入学後の所属は，離島・地域文化系とする。詳細は，入学後のオリエンテーションで説明する。（URL：https://www.edu.nagasaki-u.ac.jp/）</p>	

(3) 学力検査等の配点の変更

総合型選抜Ⅱ小学校教育コースの学力検査等の配点を以下のとおり変更します。

<令和8年度>

大学入学共通テスト・学力検査等の配点等																	
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	面接	筆記試験	課題論文	歯学部 ゼミナール	適性評価	基礎 学力 評価	小テスト	自己 推薦書	調査書	配点 合計
共通テスト	100	*100		100	*50	100	10										460
		*50			*100												
学力検査等								300									300



<令和9年度>

大学入学共通テスト・学力検査等の配点等																	
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	面接	筆記試験	課題論文	歯学部 ゼミナール	適性評価	基礎 学力 評価	小テスト	自己 推薦書	調査書	配点 合計
共通テスト	100			100		200	20										420
学力検査等								300									300

(4) 採点・評価基準の変更

総合型選抜Ⅱ小学校教育コースの採点・評価基準を以下のとおり変更します。

- (旧)
1. 第1次選考
自己推薦書，諸活動の記録，調査書等を評価する。
 2. 第2次選考
面接（自己表現を含む。）では，個人面接時の自己表現に関するやり取りをとおして，教職への志望の強さ，主体的な学修意欲，教育への関心等を評価する。
- (新)
1. 第1次選考
課題の提出物，自己推薦書，諸活動の記録，調査書等を評価する。
 2. 第2次選考
面接（課題の製作等のプロセスについての質問も含む。）では，教職への志望の強さ，主体的な学修意欲，教育への関心等を評価する。

【工学部】

採点・評価基準の変更

総合型選抜Ⅰ（化学・物質工学コース）の第2次選考における基礎学力テストの出題範囲（物理及び化学）を次のとおり変更します。

（旧） 1. 第1次選考 略。

2. 第2次選考 略。

・ 出題範囲

英語：略

数学：略

物理：

（機械，構造，社会環境デザイン工学コース） 略

（電気電子工学コース） 略

（化学・物質工学コース）

物理基礎，物理

化学：

（化学・物質工学コース）

化学基礎，化学

（新） 1. 第1次選考 略。

2. 第2次選考 略。

・ 出題範囲

英語：略

数学：略

物理：

（機械，構造，社会環境デザイン工学コース） 略

（電気電子工学コース） 略

（化学・物質工学コース）

物理基礎

化学：

（化学・物質工学コース）

工業化学（ただし以下の項目を除く）

・「物質の変化とエネルギー」のうち「原子核エネルギー」

・「石油と化学」のうち「石油の精製と化学工業」

・「生活と化学工業製品」

【環境科学部】

(1) 選抜方法等の変更

総合型選抜Ⅱにおける選抜方法等を次のとおり変更します。

<令和8年度>

選抜方法等	<p>自己推薦書、調査書、大学入学共通テスト、面接（プレゼンテーションを含む。）の結果等を総合して合格者を決定する。自己推薦書にはプレゼンテーションで発表する内容紹介も含めること。なお、第2次選考において、面接の得点率が <u>40%</u>未満の者は、大学入学共通テストの成績にかかわらず、不合格とする。</p> <p>また、大学入学共通テスト指定教科・科目の総合計の得点率が、原則として50%未満の者は不合格とする。ただし、大学入試センターが発表する大学入学共通テスト（本試験）平均点（中間集計）における平均点を考慮して、大学入学共通テストの指定教科・科目の総合計の得点率が50%未満の者でも不合格者としがない場合がある。</p> <p>1. 第1次選考 略。 2. 第2次選考 略。 【大学入学共通テスト指定教科・科目】 略。</p>
-------	--



<令和9年度>

選抜方法等	<p>自己推薦書、調査書、大学入学共通テスト、面接（プレゼンテーションを含む。）の結果等を総合して合格者を決定する。自己推薦書にはプレゼンテーションで発表する内容紹介も含めること。なお、第2次選考において、面接の得点率が <u>50%</u>未満の者は、大学入学共通テストの成績にかかわらず、不合格とする。</p> <p>また、大学入学共通テスト指定教科・科目の総合計の得点率が、原則として50%未満の者は不合格とする。ただし、大学入試センターが発表する大学入学共通テスト（本試験）平均点等一覽（中間集計）における平均点を考慮して、大学入学共通テストの指定教科・科目の総合計の得点率が50%未満の者でも不合格者としがない場合がある。</p> <p>1. 第1次選考 略。 2. 第2次選考 略。 【大学入学共通テスト指定教科・科目】 略。</p>
-------	---

(2) 学力検査等の配点の変更

総合型選抜Ⅱにおける学力検査等の配点を次のとおり変更します。

<令和8年度>

選抜方法	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										
	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	面接	(略)	配点合計
選抜方法A (文系受験)	共通テスト	200	*200		100	100	200	20			820
	学力検査等								<u>300</u>		<u>300</u>
選抜方法B (理系受験)	共通テスト	100	*100		200	200	200	20			820
	学力検査等								<u>300</u>		<u>300</u>



<令和9年度>

選抜方法	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										
	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	面接	(略)	配点合計
選抜方法A (文系受験)	共通テスト	200	*200		100	100	200	20			820
	学力検査等								<u>500</u>		<u>500</u>
選抜方法B (理系受験)	共通テスト	100	*100		200	200	200	20			820
	学力検査等								<u>500</u>		<u>500</u>

(3) 合否判定基準の変更

総合型選抜Ⅱにおける合否判定基準を次のとおり変更します。

- (旧) (1) 面接の得点率が40%未満の者は不合格とする。
また、大学入学共通テスト指定教科・科目の総合計の得点率が、原則として50%未満の者は不合格とする。ただし、大学入試センターが発表する大学入学共通テスト（本試験）平均点（中間集計）における平均点を考慮して、大学入学共通テストの指定教科・科目の総合計の得点率が50%未満の者でも不合格者としがない場合がある。
- (2)～(3) 略。
- (新) (1) 面接の得点率が50%未満の者は不合格とする。
また、大学入学共通テスト指定教科・科目の総合計の得点率が、原則として50%未満の者は不合格とする。ただし、大学入試センターが発表する大学入学共通テスト（本試験）平均点等一覧（中間集計）における平均点を考慮して、大学入学共通テストの指定教科・科目の総合計の得点率が50%未満の者でも不合格者としがない場合がある。
- (2)～(3) 略。

上記以外の入試の詳細は、本冊子の関係ページで確認してください。

1. アドミッション・ポリシー

〔全学共通のアドミッション・ポリシー〕

長崎大学は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・ 専門的な知識や技術の習得に必要な知識・技能・理解の基礎が充実している。
- ・ ものごとの本質を学修するために必要となる基礎的な論理的・批判的思考力，判断力がある。
- ・ 日本語・英語・その他の外国語で積極的にコミュニケーションを行おうとする姿勢とその基盤となる基礎的な言語運用力を持っている。
- ・ 自ら考えようとする態度がある。
- ・ 自らを高めるために継続的に学ぼうとする態度・意欲がある。
- ・ 多様性を認め，他者と協働しようとする態度がある。
- ・ 国際社会，地域社会への関心を持っている。

本学では，これらの資質・素養を大学入学共通テスト，個別試験，調査書，小論文・課題論文，実技，面接等により総合的に評価し，入学者の選抜を行います。

〔多文化社会学部のアドミッション・ポリシー〕

多文化社会学部は、全学共通のアドミッション・ポリシーに加えて、学部の教育理念、教育研究上の目的、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえて、入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・ 専門科目の学修の基盤となる高等学校卒業程度の基礎的・基本的知識を有している。
- ・ 英語を主とする外国語の運用能力の基礎が充実している。
- ・ 世界規模の多種多様な考え方や価値観を尊重しつつ、それらについて批判的に思考できる基礎を有する。
- ・ 世界の多文化状況を客観的に捉え、見出された課題の解決に向けて論理的に思考できる基礎を有する。
- ・ 自らの考えを整理し、表現するライティング能力（文章力）を有する。
- ・ 多様な人々と共生的な関係を築き、協働する為に必要なコミュニケーション能力・自己表現力の基礎を有する。
- ・ 世界の多文化状況や異文化交流に興味・関心を持ち、グローバルな視点で自ら学ぼうとする意欲がある。

選抜方法に関する別表（求める資質等の評価方法とその比重（特に大きい比重：◎，大きい比重：○））

選抜方法等		求める資質等 (学力の3要素)	基礎学力 (知識・技能)	語学力(英語) (知識・技能) (思考力等)	批判的・論理的 思考力 (思考力等) (主体性等)	ライティング 能力 (知識・技能)	コミュニケーション・自己表現能力 (思考力等) (主体性等)	多文化状況への 興味・関心 (思考力等) (主体性等)
一般選抜	前期日程 (4コース)	共通テスト	◎	◎				
		個別学力検査		○	◎	○		○
		調査書					○	
		ペーパー・インタビュー					○	○
	前期日程 (オランダ)	共通テスト	◎	◎				
		個別学力検査		○	◎	○		○
		調査書					○	
		面接		○	◎		○	◎
総合型選抜 I	一般枠 (4コース, オランダ)	筆記試験			◎	○		
		自己推薦書	○	○			○	○
		諸活動の記録	○	○			○	○
		調査書	○	○			○	○
		個人面接		○			○	◎
	グローバル・国際バカロレア枠 (4コース)	筆記試験			◎	○		
		自己推薦書	○	○			○	○
		諸活動の記録	○	○			○	○
		調査書	○	○			○	○
		個人面接		○			○	◎
学校推薦型選抜 II (4コース)	共通テスト	◎	○					
	推薦書	○	○			○	○	
	志望理由書					◎	◎	
	調査書	○	○			○	○	
	面接		◎	◎		○	◎	
帰国生徒選抜	提出書類	◎	○					
	面接	○	○	◎	○	○	◎	
外国人留学生選抜	提出書類 (日本留学試験を含む)	◎	○					
	面接	○	○	◎	○	○	◎	

【教育学部のアドミッション・ポリシー】

教育学部は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・ 専門科目の学修の基盤となる高等学校卒業程度の知識・技能・理解が充実している。
- ・ 専門的な学修に必要な基礎的な論理的・批判的思考力や判断力、表現力がある。
- ・ 幼児・児童・生徒および保護者、同僚その他の人々との良好な対人関係を構築するために必要な非言語的要素を含むコミュニケーション能力がある。
- ・ 主体的に学修を継続し、発展させようとする意欲と態度がある。
- ・ 現代の教育課題への関心を持ち、教職を志望している。

選抜方法に関する別表（求める資質等の評価方法とその比重(特に大きい比重:◎, 大きい比重:○)）

【小学校教育コース】

選抜方法等		求める資質等 (学力の3要素)	基礎学力 (知識・技能)	思考力・判断力・表現力 (思考力等)	対人関係を構築するために必要なコミュニケーション能力 (主体性等)	教職の志望 教育への関心 主体的学修の意欲・態度 (主体性等)
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎	○		
		個別学力検査	○	◎		
		調査書	○			○
		面接			◎	◎
総合型選抜Ⅱ	共通テスト	◎				
	課題の提出物	◎	○			
	自己推薦書			○		◎
	諸活動の記録					○
	調査書	○				○
	面接			○	◎	◎
学校推薦型選抜Ⅱ	共通テスト	◎				
	小論文			◎		
	推薦書					○
	調査書	○				○
	面接				◎	◎
外国人留学生選抜	日本留学試験	○				
	面接			○	◎	◎

【中学校教育コース 文系】

選抜方法等		求める資質等 (学力の3要素)	基礎学力 (知識・技能)	思考力・判断力・表現力 (思考力等)	対人関係を構築するために必要なコミュニケーション能力 (主体性等)	教職の志望 教育への関心 主体的学修の意欲・態度 (主体性等)
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎	○		
		個別学力検査	○	◎		
		調査書	○			○
		面接			◎	◎
学校推薦型選抜Ⅱ	共通テスト	◎		○		
	推薦書					○
	調査書	○				○
	面接			◎	○	◎
外国人留学生選抜	日本留学試験	○				
	個別学力検査	◎		◎		
	面接				◎	◎

【中学校教育コース 理系】

選抜方法等		求める資質等 (学力の3要素)	基礎学力 (知識・技能)	思考力・判断力・表現力 (思考力等)	対人関係を構築するために必要なコミュニケーション能力 (主体性等)	教職の志望教育への関心 主体的学修の意欲・態度 (主体性等)	
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎	○			
		個別学力検査	○	◎			
		調査書					○
		面接				◎	◎
学校推薦型選抜Ⅱ	共通テスト		◎	○			
	推薦書					○	
	調査書		○			○	
	面接		○	○	○	○	
外国人留学生選抜	日本留学試験		○				
	個別学力検査		○	○			
	面接				○	○	

【中学校教育コース 実技系】

選抜方法等		求める資質等 (学力の3要素)	基礎学力 (知識・技能)	思考力・判断力・表現力 (思考力等)	対人関係を構築するために必要なコミュニケーション能力 (主体性等)	教職の志望教育への関心 主体的学修の意欲・態度 (主体性等)	
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎	○			
		個別学力検査	◎	◎			
		調査書					○
		面接				◎	◎
外国人留学生選抜	日本留学試験		○				
	個別学力検査		◎	◎			
	面接				◎	◎	

【幼児教育コース】

選抜方法等		求める資質等 (学力の3要素)	基礎学力 (知識・技能)	思考力・判断力・表現力 (思考力等)	対人関係を構築するために必要なコミュニケーション能力 (主体性等)	教職の志望教育への関心 主体的学修の意欲・態度 (主体性等)	
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎	○			
		個別学力検査	○	◎			
		調査書					○
		面接				◎	◎
学校推薦型選抜Ⅱ	共通テスト		◎	○			
	推薦書					○	
	調査書		○			○	
	面接			◎	◎	◎	
外国人留学生選抜	日本留学試験		◎				
	面接			○	◎	◎	

【特別支援教育コース】

選抜方法等		求める資質等 (学力の3要素)	基礎学力 (知識・技能)	思考力・判断力・表現力 (思考力等)	対人関係を構築するために必要なコミュニケーション能力 (主体性等)	教職の志望 教育への関心 主体的学修の意欲・態度 (主体性等)
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎	○		
		個別学力検査	○	◎		
		調査書				○
		面接			◎	◎
学校推薦型選抜Ⅱ	共通テスト	◎	○			
	小論文		◎			
	推薦書				○	
	調査書	○			○	
	面接		○	◎	◎	
外国人留学生選抜	日本留学試験	○				
	面接		○	◎	◎	

【経済学部のアドミッション・ポリシー】

経済学部は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・ 基礎的学力が身についている。
- ・ 論理的思考力が身についている。
- ・ 英語を含むコミュニケーション力が身についている。
- ・ 強い学習意欲，主体性や行動力がある。

選抜方法に関する別表 (求める資質等の評価方法とその比重(特に大きい比重:◎, 大きい比重:○))

選抜方法等		求める資質等 (学力の3要素)	基礎的学力が身についている (知識・技能)	論理的思考力が身についている (思考力等)	コミュニケーション力が身についている (思考力等)	学習意欲, 主体性や 行動力がある (主体性等)
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎	○	○	
		個別学力検査	○	◎	◎	
		調査書				○
		ペーパー・インタビュー				○
	後期日程	共通テスト	◎	○	○	
		小論文	○	◎	○	
		調査書				○
		ペーパー・インタビュー				○
総合型選抜Ⅰ	筆記試験	◎	◎			
	自己推薦書		○		◎	
	調査書				○	
	面接 (プレゼンテーション型)		◎	◎	◎	
総合型選抜Ⅱ	共通テスト	○	○	○		
	自己推薦書				○	
	諸活動の記録				○	
	調査書			○	○	
	面接			○	○	
学校推薦型選抜Ⅰ	小論文	○	◎	○		
	推薦書				○	
	調査書			○	○	
	面接			○	○	
外国人留学生選抜	小論文	○	◎	○		
	英語外部試験	○		○		
	日本留学試験	◎		○		
	面接			○	○	

【歯学部のアドミッション・ポリシー】

【一般コース】

歯学部は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・ 専門科目の修学に要する基礎学力を有している。
- ・ 専門科目の修学に要する思考力，判断力，表現力を有している。
- ・ 歯科口腔医学，歯科口腔医療に対する強い関心と明確な目的意識ならびに使命感を持っている。
- ・ 主体性を持って学ぶ態度と多様な人々と協働するコミュニケーション能力を有している。

【歯学研究コース】

一般コースに加え，以下の資質・素養を求めます。

- ・ 将来我が国の最先端歯科口腔医療，歯科口腔医学または歯科口腔医学教育を担うことを目指し，本学部卒業後，大学院医歯薬学総合研究科（歯学系）に進学するための，歯学研究コースを履修することを確約し，遂行する強い意思を持っている。

選抜方法に関する別表（求める資質等の評価方法とその比重（特に大きい比重：◎，大きい比重：○））

選抜方法等		求める資質等 (学力の3要素)	基礎学力 (知識・技能)	思考力，判断力，表現力 (思考力等)	歯科口腔医学，歯科口腔医療に対する強い関心と明確な目的意識ならびに使命感 (主体性等)	主体性を持って学ぶ態度と多様な人々と協働するコミュニケーション能力 (主体性等)	最先端歯科医療，歯学研究，歯学教育を担うことを目指し，大学院に進学する強い意思 (主体性等)	
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎	◎				
		個別学力検査	○	◎				
		調査書	○				○	
		志願調書				○		
		面接				◎	◎	
総合型選抜Ⅱ		共通テスト	◎	◎				
		歯学部ゼミナール	◎			◎		
		調査書	○					
		自己推薦書				○		
		面接				◎	◎	
学校推薦型選抜Ⅱ		共通テスト	◎	◎				
		小論文		○	○			
		調査書	○					
		推薦書				○		
		志望理由書				○	○	
		面接				◎	◎	
外国人留学生選抜		日本留学試験	◎	◎				
		修了(修了見込)証明書および成績証明書	○					
		個別学力検査	○	◎				
		面接				◎	◎	

【工学部のアドミッション・ポリシー】

工学部は、入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・ 数学，理科，英語の基礎学力を有している。
- ・ 論理的思考力や読解力を有している。
- ・ 工学に強い関心を持ち，主体的に学修を継続する強い意志と実行力がある。
- ・ 協調性やコミュニケーション能力がある。

選抜方法に関する別表 (求める資質等の評価方法とその比重(特に大きい比重:◎, 大きい比重:○))

選抜方法等		求める資質等 (学力の3要素)	数学・理科・英語の 基礎学力 (知識・技能)	論理的思考力 読解力 (思考力等)	主体性 実行力 関心度 (主体性等)	協調性・ コミュニケーション能力 (主体性等)	
一般 選 抜	前期日程	共通テスト	◎	○			
		個別学力検査	○	◎			
		調査書				◎	○
		ペーパー・インタビュー				○	◎
	後期日程	共通テスト	◎	○			
		小論文	○	◎			
		調査書				◎	○
		ペーパー・インタビュー				○	◎
総合型選抜 I	基礎学力テスト	◎	○				
	面接	○	○	○	○	◎	
	調査書				◎	○	
	自己推薦書				○		
学校推薦型選抜 II (一般枠)	共通テスト	◎	○				
	面接				○	◎	
	調査書	○			◎	○	
	志望理由書				○		
	推薦書				○	○	
学校推薦型選抜 II (女子枠)	共通テスト	◎	○				
	面接				◎	◎	
	調査書	○			○	○	
	志望理由書			○	◎		
	推薦書				○	○	
外国人留学生選抜	面接(口述試験を含む)	○	○	○	○	◎	
	日本留学試験	○					
	外部英語検定試験	○					

【環境科学部のアドミッション・ポリシー】

環境科学部は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- 多様な環境科学を学修する基盤となる高等学校卒業程度の知識・技能・理解が充実している。
このため、大学入学共通テストでは幅広い科目に対して配点しています。前期日程試験の選抜方法A（文系受験）では国語と地歴・公民、選抜方法B（理系受験）では数学と理科の配点を高くしています。
- 学修・研究に必要となる基本的な英語能力がある。
前期日程の選抜方法A（文系受験）の個別学力検査で英語を課し、選抜方法B（理系受験）では英語を選択可能な科目として位置づけています。
- 環境科学を専門的に学修するために必要となる判断力や思考力を有する。
後期日程試験では、小論文試験でこれらの資質を評価します。
- 環境をめぐる諸問題に強い関心を持ち、環境科学を学ぶ意欲にあふれ、主体的に学修を継続する姿勢がある。
このため、前期日程ではペーパー・インタビューで、後期日程や総合型選抜、学校推薦型選抜、外国人留学生選抜等では面接で、これらの資質・素養を評価します。

選抜方法に関する別表（求める資質等の評価方法とその比重（特に大きい比重：◎，大きい比重：○））

選抜方法等		求める資質等 (学力の3要素)	基礎学力 (知識・技能)	英語能力 (知識・技能) (思考力等)	判断力・表現力・思考力 (思考力等)	意欲・積極性、環境への関心度 (思考力等) (主体性等)
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎	○		
		個別学力検査		○	○	
		調査書			○	○
	後期日程	ペーパー・インタビュー			○	○
		共通テスト	◎	○		
		小論文			○	○
	面接			○	○	
総合型選抜Ⅱ	共通テスト	◎	○			
	自己推薦書				◎	
	調査書	○			○	
	面接			◎	◎	
学校推薦型選抜Ⅱ	共通テスト	◎	○			
	調査書			○	○	
	面接			○	○	
外国人留学生選抜	日本留学試験	◎				
	小論文			○	○	
	面接			○	○	

〔水産学部のアドミッション・ポリシー〕

水産学部は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・ 海洋環境と海洋生物に代表される水圏と社会の関わりに強い関心を持っている。
- ・ 地域の様々な問題に対し地球規模の視野で柔軟に対応できる分野横断的な問題解決能力を獲得する意欲を有している。
- ・ 将来、国内外の第一線で活躍し各分野のリーダーになれるような自主的、主体的学修・研究姿勢を有している。
- ・ 知識偏重ではなく、将来、実社会で活躍できる論理的思考能力を有している。
- ・ 諸課題を解決するために必要な基礎的知識や技能を習得している。

選抜方法に関する別表(求める資質等の評価方法とその比重(特に大きい比重:◎, 大きい比重:○))

選抜方法等		求める資質等 (学力の3要素)	基礎的知識・技能 (知識・技能)	論理的思考力 (思考力等)	学修・研究姿勢 (主体性等)	問題解決能力 (思考力等)	水圏と社会の関わり への関心 (主体性等)
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎	◎			
		個別学力検査	◎	◎			
		調査書	○			○	
		ペーパー・インタビュー				○	○
	後期日程	共通テスト	◎	◎			
		調査書	○			○	
面接				○	◎	○	
総合型選抜 I	小テスト	◎	◎			○	
	調査書	○					
	諸活動の記録	◎			◎	○	
	課題論文			○		○	
	自己推薦書				○	○	
	面接				◎	◎	
学校推薦型選抜 II	共通テスト	◎	◎				
	調査書	○					
	推薦書	○	○	○	○	○	
	志望理由書				◎	○	
	面接				◎	◎	
帰国生徒選抜	小論文	○	◎				
	面接	○	○	◎	○	◎	
外国人留学生選抜	面接	○	◎	◎	○	◎	

2. 教職課程を必修とする学生の実習に係る犯罪事実確認制度について

(令和8年度以降入学者対象)

■ 対象となる学生

本学での入学前の周知対象となるのは、教育学部（教職課程を卒業要件とする課程）に入学する学生です。

※他学部において、任意で教職課程を選択する学生は、本周知の対象外です。

■ 周知内容

犯罪事実確認により、または申告により特定性犯罪前科が確認された場合、児童生徒と接する教育実習を行うことはできません。教育学部入学者においては教育実習が卒業要件であるため、卒業ができなくなる事態が発生します。

■ 制度概要

令和6年法律第69号「学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律」の施行（令和8年12月25日予定）に伴い、教育実習に参加する学生に対し、特定性犯罪前科の有無を確認する制度が導入されます。

教育実習校の判断により、学生は実習前に犯罪事実確認を受ける場合があります。

■ 入学手続き時の対応

前述の対象となる学生に対して、入学手続き時に以下を実施します。

- ・文書による制度内容の説明
- ・入学前の教育実習等に係る同意書の提出
- ・入学前の特定性犯罪前科がない旨の誓約書の提出

■ 入学後の実習前

教育実習等を履修する学生に対して、実習前に以下を実施します。

- ・制度内容の再周知
- ・実習前の教育実習等に係る同意書の提出
- ・実習前の特定性犯罪前科がない旨の誓約書の提出

こどもとその学習環境を守るための制度です。ご理解とご協力をお願いいたします。

3. 募集人員・実施日程

区分	学部名	学科等名		募集人員	出願期間	第1次選考日	第1次選考結果発送	第2次選考日	合格者発表	入学手続締切	
総合型選抜 I 注1	経済学部	総合経済学科		20	9月1日(火) ～ 9月7日(月) ※インターネット 出願登録は 8月25日(火) から可能		9月17日(木)	10月17日(土)	11月2日(月)	11月24日(火)	
	多文化 社会学部	多文化 社会学科	国際公共政策コース	一般枠			6	9月29日(火)			10月10日(土)
			社会動態コース	グローバル・ 国際バカロ レア枠			1				
			共生文化コース								
			言語コミュニケーションコース								
	水産学部	水産学科		5							10月10日(土)
	工学部	工学科	機械工学コース				A -	9月29日(火)			10月16日(金)
							B 8				
			電気電子工学コース				A -				
							B 9				
			構造工学コース				A -				
							B 2				
社会環境デザイン工学コース			A 8								
			B 5								
化学・物質工学コース		A -									
		B 5									
総合型選抜 II 注1	教育学部	学校教育 教員養成 課程	小学校教育コース		8-4	9月1日(火) ～ 9月7日(月)	9月29日(火)	10月10日(土)	令和9年 2月10日(水)	令和9年 2月17日(水)	
	環境科学部	環境科学科	選抜方法 A (文系受験)		4	※インターネット 出願登録は 8月25日(火) から可能		10月14日(水)			
			選抜方法 B (理系受験)								
	経済学部	総合経済学科		25	11月9日(月) ～ 11月13日(金)	12月1日(火)		令和9年 1月29日(金)			
歯学部	歯学科		5	※インターネット 出願登録は 11月2日(月) から出願可能	11月28日(土) 11月29日(日) (注5)	12月14日(月)	令和9年 1月22日(金)				

注1) 総合型選抜 I は大学入学共通テストを課さないもの、総合型選抜 II は大学入学共通テストを課すものを表す。

2) 総合型選抜による入学手続者数が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を一般選抜の前期日程に加えて選抜する。

3) 多文化社会学部の国際公共政策コース、社会動態コース、共生文化コース及び言語コミュニケーションコースについては、1年次終了時にコースを決定する。

4) 教育学部小学校教育コースはコースで募集し、入学後の所属は、離島・地域文化系とする。詳細は、入学後のオリエンテーションで説明する。
(URL : <https://www.edu.nagasaki-u.ac.jp/>)。

5) 歯学部において、第1次選考として「歯学部ゼミナール」を実施する。

4. 出願要件・選抜方法等

学力検査等において、志望する学部・学科等が指定した教科・科目等を全て受験していなければ、合格者とはなれない。また、本学の総合型選抜Ⅱに出願した者は、本学の学校推薦型選抜Ⅱに出願することはできない。

【多文化社会学部】(一般枠)

〔総合型選抜Ⅰ〕

実施学部・学科名	多文化社会学部 多文化社会学科	
募集人員	国際公共政策コース・社会動態コース・共生文化コース・言語コミュニケーションコース	6人 ※1
	オランダ特別コース	3人
出願要件	<p>次のいずれかに該当し、かつ、TOEFL iBT (Home Edition を含む。) 従来スコアの場合は 61 点以上、総合バンドスコアの場合は 3.5 以上、TOEFL ITP 500 点以上、TOEIC L&R 730 点以上、TOEIC L&R+TOEIC S&W 1000 点以上、実用英語技能検定 (英検, 英検 CBT 又は英検 S-CBT) 準 1 級以上、IELTS 5.5 以上、GTEC (4 技能版) 1140 点以上又は TEAP 334 点以上のいずれかのスコア・級を有し、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和 9 年 3 月卒業見込みの者 2. 特別支援学校の高等部又は高等専門学校第 3 年次を修了した者及び令和 9 年 3 月修了見込みの者 3. 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者及び令和 9 年 3 月 31 日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 4. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和 9 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 5. 専修学校の高等課程 (修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。) で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和 9 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 6. 文部科学大臣の指定した者 (ただし、国際バカロレア資格等については、令和 9 年 3 月 31 日までに取得見込みの者を含む。) 7. 高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者 (廃止前の大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。) 及び令和 9 年 3 月 31 日までに合格見込みの者で、かつ、18 歳に達するもの 8. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和 9 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの <p>(注 1) 外国語検定試験は、令和 6 年 9 月以降に受験した試験に限る。ただし、実用英語技能検定 (英検) については、二次試験を令和 6 年 9 月以降に受験した試験とする。</p> <p>(注 2) 外国語検定試験は公式スコアに限る (ただし、TOEFL ITP についてはこの限りではない。)。なお、TOEFL iBT (Home Edition を含む。) は Test Date スコアのみを対象とし、TOEIC IP 及び IELTS の One Skill Retake は対象としない。</p>	
選抜方法等	<p>自己推薦書、諸活動の記録、調査書、個人面接、筆記試験の結果等を総合して合格者を決定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第 1 次選考 自己推薦書、諸活動の記録、調査書等により選考を行う。 2. 第 2 次選考 第 1 次選考に合格した者に対して、個人面接 (日本語及び英語による) 及び筆記試験 (論理的思考力と洞察力 (観察力) を問う) ※2 を行う。 <p>※1 一般枠、グローバル・国際バカロレア枠のいずれかの枠の合格者数が募集人員に満たない場合は、その不足した人員をもう一方の枠の募集人員に加えて、最終的に各枠の合格者を決定する。</p> <p>※2 参考: 筆記試験について、令和 8 年度入試では課題文をもとに小論文試験を行った。</p>	
出願期間	令和 8 年 9 月 1 日 (火) ~ 令和 8 年 9 月 7 日 (月)	
試験日	第 1 次選考 (書類選考)	選考結果は令和 8 年 9 月 29 日 (火) に本人宛送付する。
	第 2 次選考 (筆記試験・面接(個人))	令和 8 年 10 月 10 日 (土)
合格者発表	令和 8 年 11 月 2 日 (月)	
その他	入学手続者に対しては、入学までの期間、在学する学校長の許諾を得た上で、入学前教育を行うこととしている。その内容については、合格者発表後に通知する予定である。	

実施学部・学科名	多文化社会学部 多文化社会学科			
募集人員	国際公共政策コース・社会動態コース・共生文化コース・言語コミュニケーションコース	1人 ※1		
出願要件	<p>【グローバル枠】 次の各号のすべてに該当し、合格した場合は入学することを確約できる者 (1) 人文社会科学の観点からグローバルな課題について、学校教育プログラムにより2年以上にわたり課題研究に取り組み、高等学校又は中等教育学校を令和9年3月卒業見込みの者、あるいは特別支援学校の高等部又は高等専門学校第3年次を令和9年3月に修了見込みの者 (2) 全体の学習成績の状況が4.0以上であり、かつ、外国語(英語)の学習成績の状況が4.6以上である者 (注)「学校教育プログラム」とは、当該高等学校等の正規の教育課程の一環として実施され、単位取得を伴うプログラムをいう。</p> <p>【国際バカロレア枠】 次の各号のすべてに該当し、合格した場合は入学することを確約できる者 (1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格(International Baccalaureate Diploma (以下「IB」という。))を取得した者又は令和9年3月31日までに取得見込みの者 (2) IBフルディプロマのスコアが32ポイント以上の者又は令和9年3月31日までにIBを取得見込みの者でIB Predicted Gradesが出願時に32ポイント以上であるもの (3) 日本語を母語とする者、日本語B(HL)のスコアが6ポイント以上の者又は日本語B(HL)のIB Predicted Gradesが出願時に6ポイント以上の者 (4) IBの取得において、本学の指定する次表の科目を履修していること。</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td style="text-align: center;">科目</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">6つの教科群のグループ「3. 個人と社会」のうち「経済」、「地理」、「歴史」、「情報テクノロジーとグローバル社会」、「哲学」、「社会・文化人類学」及び「グローバル政治」から1科目を高度レベル(HL)で履修</td> </tr> </table> <p>(注) IBを取得見込みで出願した者が、令和9年3月31日までにIB資格証書の写しとIB最終試験の成績証明書を提出できない場合、IBフルディプロマのスコアが32ポイントに満たなかった場合又は日本語B(HL)のスコアが6ポイントに満たなかった場合は、合格取消となる。</p>		科目	6つの教科群のグループ「3. 個人と社会」のうち「経済」、「地理」、「歴史」、「情報テクノロジーとグローバル社会」、「哲学」、「社会・文化人類学」及び「グローバル政治」から1科目を高度レベル(HL)で履修
科目				
6つの教科群のグループ「3. 個人と社会」のうち「経済」、「地理」、「歴史」、「情報テクノロジーとグローバル社会」、「哲学」、「社会・文化人類学」及び「グローバル政治」から1科目を高度レベル(HL)で履修				
選抜方法等	<p>自己推薦書、諸活動の記録、調査書、個人面接、筆記試験の結果等を総合して合格者を決定する。</p> <p>1. 第1次選考 自己推薦書、諸活動の記録、調査書等(グローバル枠の志願者については学校教育プログラムの概要及び所定の用紙による志願者の課題研究報告書を含む。)により選考を行う。</p> <p>2. 第2次選考 第1次選考に合格した者に対して、個人面接(日本語及び英語による)及び筆記試験(論理的思考力と洞察力(観察力)を問う)※2を行う。</p> <p>※1 一般枠、グローバル・国際バカロレア枠のいずれかの枠の合格者数が募集人員に満たない場合は、その不足した人員をもう一方の枠の募集人員に加えて、最終的に各枠の合格者を決定する。</p> <p>※2 参考:筆記試験について、令和8年度入試では課題文をもとに小論文試験を行った。</p>			
出願期間	令和8年9月1日(火)～令和8年9月7日(月)			
試験日	第1次選考(書類選考)	選考結果は令和8年9月29日(火)に本人宛送付する。		
	第2次選考(筆記試験・面接(個人))	令和8年10月10日(土)		
合格者発表	令和8年11月2日(月)			
その他	入学手続者に対しては、入学までの期間、在学する学校長の許諾を得た上で、入学前教育を行うこととしている。その内容については、合格者発表後に通知する予定である。			

実施学部・学科名	教育学部 学校教育教員養成課程								
募集人員	小学校教育コース	8人							
出願要件	<p>技能系教科（音楽、美術、技術、家庭）に強い関心を持ち、卒業後は長崎県内の小中学校等において教職に就くことを強く希望する者のうち、大学入学共通テストで教育学部が指定した教科・科目を受験する者で、次のいずれかに該当し、合格した場合は入学することを確約できる者（本学では、過去の大学入試センター試験及び大学入学共通テストの成績は利用しない。）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者 2. 特別支援学校の高等部又は高等専門学校第3年次を修了した者及び令和9年3月修了見込みの者 3. 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 4. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者 5. 文部科学大臣の指定した者（ただし、国際バカロレア資格等については、令和9年3月31日までに取得見込みの者を含む。） 6. 高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（廃止前の大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和9年3月31日までに合格見込みの者で、かつ、18歳に達するもの 								
選抜方法等	<p>課題の提出物、自己推薦書、諸活動の記録、調査書、大学入学共通テスト、面接（課題の製作等のプロセスについての質問も含む。）の結果等を総合して合格者を決定する。ただし、第2次選考において、面接の得点率が20%未満の者は、大学入学共通テストの成績にかかわらず、不合格とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第1次選考 課題の提出物、自己推薦書、諸活動の記録、調査書等により、課題の提出物とその他を各5割の割合で評価し、選考を行う。 2. 第2次選考 第1次選考に合格した者に対して、面接（課題の製作等のプロセスについての質問も含む。）を課し、大学入学共通テストの成績と合わせて選考を行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【大学入学共通テスト指定教科・科目】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">国</td> <td style="width: 50%;">：国</td> <td rowspan="3" style="width: 10%; vertical-align: middle;">} から1（注）</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>：「数Ⅰ」, 「数Ⅰ, 数A」 「数Ⅱ, 数B, 数C」</td> </tr> <tr> <td>外情</td> <td>：英, 独, 仏, 中, 韓から1 ：情報Ⅰ</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">[4教科4科目]</p> </div> <p>(注) 数学を2科目受験している場合は、高得点科目を採用する。</p>		国	：国	} から1（注）	数	：「数Ⅰ」, 「数Ⅰ, 数A」 「数Ⅱ, 数B, 数C」	外情	：英, 独, 仏, 中, 韓から1 ：情報Ⅰ
国	：国	} から1（注）							
数	：「数Ⅰ」, 「数Ⅰ, 数A」 「数Ⅱ, 数B, 数C」								
外情	：英, 独, 仏, 中, 韓から1 ：情報Ⅰ								
出願期間	令和8年9月1日（火）～令和8年9月7日（月）								
試験日	第1次選考 (書類選考)	選考結果は令和8年9月29日（火）に本人宛送付する。							
	第2次選考 (面接)	令和8年10月10日（土）							
合格者発表	令和9年2月10日（水）								
その他	入学後の所属は、離島・地域文化系とする。詳細は、入学後のオリエンテーションで説明する。 (URL : https://www.edu.nagasaki-u.ac.jp/)								

実施学部・学科名	経済学部 総合経済学科	
募集人員	20人	
出願要件	<p>次のいずれかに該当し、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者 2. 特別支援学校の高等部又は高等専門学校第3年次を修了した者及び令和9年3月修了見込みの者 3. 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 4. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和9年3月修了見込みの者 5. 文部科学大臣の指定した者 6. 高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（廃止前の大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和9年3月31日までに合格見込みの者で令和9年3月31日までに18歳に達するもの 7. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和9年3月31日までに18歳に達するもの 	
選抜方法等	<p>自己推薦書、調査書（調査書を提出できない者については、活動報告書）、筆記試験、プレゼンテーション型面接（口頭試問を含む。）の成績等を総合して合格者を決定する。ただし、第2次選考において、次のいずれかに該当する者は不合格とする。</p> <p>（ア）筆記試験の得点率が30%未満の者 （イ）プレゼンテーション型面接の得点率が40%未満の者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第1次選考 自己推薦書、調査書（または、活動報告書）等により選考を行う。 2. 第2次選考 第1次選考に合格した者に対して、筆記試験及びプレゼンテーション型面接（口頭試問を含む。）を課し評価する。 <ol style="list-style-type: none"> ① 筆記試験：高校までの学習を前提とした、論理的に分析・思考して結論を導く能力を問う数理に関する基礎的な問題を課す。 ② プレゼンテーション型面接（注）：あらかじめ提示されたテーマについて、プレゼンテーションを行い、その後、プレゼンテーションの内容及び提出された書類による質疑応答を行う（20分程度）。 <p>（注）プレゼンテーションのテーマ及び要領等については、第1次選考合格者への合格通知と併せて送付する。</p> 	
出願期間	令和8年9月1日（火）～令和8年9月7日（月）	
試験日	第1次選考 （書類選考）	選考結果は令和8年9月17日（木）に本人宛送付する。
	第2次選考 （筆記試験・プレゼンテーション型面接）	令和8年10月17日（土）
合格者発表	令和8年11月2日（月）	
その他	入学手続者に対しては、入学までの期間、在学する学校長の許諾を得た上で、入学前教育を行うこととしている。その内容については、合格者発表後に通知する予定である。	

実施学部・学科名	経済学部 総合経済学科																				
募集人員	25人																				
出願要件	<p>次のいずれかに該当し、大学入学共通テストを受験する者で、かつ、合格した場合は入学することを確約できるもの (本学では、過去の大学入学共通テストの成績は利用しない。)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校又は中等教育学校を令和7年4月以降に卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者 2. 特別支援学校の高等部又は高等専門学校第3年次を令和7年4月以降に修了した者及び令和9年3月修了見込みの者 3. 外国において、学校教育における12年の課程を令和7年4月以降に修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 4. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和7年4月以降に修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者 5. 文部科学大臣の指定した者 ただし、国際バカロレア資格等については、令和7年4月以降に取得した者及び令和9年3月31日までに取得見込みの者 6. 高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び令和9年3月31日までに合格見込みの者で、かつ、18歳に達するもの 7. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和9年3月31日までに18歳に達するもの 																				
選抜方法等	<p>自己推薦書、諸活動の記録、調査書（調査書を提出できない者については、活動報告書）、大学入学共通テスト及び個人面接の成績等を総合して合格者を決定する。ただし、第2次選考において、個人面接の得点率が40%未満の者は不合格とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第1次選考 自己推薦書、諸活動の記録、調査書（または、活動報告書）等により選考を行う。 2. 第2次選考 第1次選考に合格した者に対して、大学入学共通テスト及び個人面接を課し、評価する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">【大学入学共通テストの指定教科・科目】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">国</td> <td style="width: 60%;">： 国</td> <td rowspan="10" style="width: 25%; vertical-align: middle; font-size: 3em;">}</td> <td rowspan="10" style="vertical-align: middle;">から2科目（注）</td> </tr> <tr> <td>地歴</td> <td>： 「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」 「地総／歴総／公」</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>： 「公、倫」、「公、政・経」</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>： 「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>： 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」、 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>： 英、独、仏、中、韓</td> </tr> <tr> <td>情</td> <td>： 情報Ⅰ</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">[1教科2科目] 又は [2教科2科目]</td> </tr> </table> </div> <p>※「地総／歴総／公」及び「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」については2つを選択解答するため、選択解答した2つを1科目として採用する。 (注) 受験している科目をそれぞれ50点満点に換算し、高得点順に2科目を採用する。ただし、地歴・公民及び理科の第2解答科目は、それぞれの第1解答科目を採用している場合のみ採用する。</p>		国	： 国	}	から2科目（注）	地歴	： 「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」 「地総／歴総／公」	公民	： 「公、倫」、「公、政・経」	数	： 「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」	理	： 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」、 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」	外	： 英、独、仏、中、韓	情	： 情報Ⅰ	[1教科2科目] 又は [2教科2科目]		
国	： 国	}	から2科目（注）																		
地歴	： 「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」 「地総／歴総／公」																				
公民	： 「公、倫」、「公、政・経」																				
数	： 「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」																				
理	： 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」、 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」																				
外	： 英、独、仏、中、韓																				
情	： 情報Ⅰ																				
[1教科2科目] 又は [2教科2科目]																					
出願期間	令和8年11月9日（月）～令和8年11月13日（金）																				
試験日	第1次選考 （書類選考）			選考結果は令和8年12月1日（火）に本人宛送付する。																	
	第2次選考 （面接(個人)）	令和9年1月29日（金）																			
合格者発表	令和9年2月10日（水）																				
その他																					

実施学部・学科名	歯学部 歯学科																					
募集人員	5人																					
出願要件	<p>高等学校又は中等教育学校を令和7年4月以降に卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者、あるいは特別支援学校の高等部又は高等専門学校第3年次を令和7年4月以降に修了した者及び令和9年3月に修了見込みの者で、次の各号に該当するもの (本学では、過去の大学入学共通テストの成績は利用しない。)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 歯学部歯学科における勉学を強く志望し、第一志望とする者 2. 本学が開講する歯学部ゼミナールを受講する者 3. 大学入学共通テストで、歯学部が指定した教科・科目を受験する者 4. 合格した場合は、入学することを確約できる者 																					
選抜方法等	<p>自己推薦書、調査書、歯学部ゼミナールの評価及び大学入学共通テストの成績並びに面接（個人及びグループ）の評価を総合して合格者を決定する。</p> <p>(1) 面接の得点率が50%未満の者は不合格とする。 また、大学入学共通テストの指定教科・科目の総合計の得点率が、原則として65%未満の者は不合格とする。ただし、大学入試センターが発表する大学入学共通テスト（本試験）平均点等一覧（中間集計）における平均点を考慮して、大学入学共通テストの指定教科・科目の総合計の得点率が65%未満の者でも不合格者としなない場合がある。</p> <p>(2) (1)を除いた者の中から、大学入学共通テスト、歯学部ゼミナール、面接、自己推薦書及び調査書の総得点の高い順に合格者を決定する。</p> <p>(3) 総得点と同点の場合は、次の順序で決定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 大学入学共通テストの総合計の得点が上位の者 ② 歯学部ゼミナールの得点が上位の者 ③ 面接の得点が上位の者 <p>1. 第1次選考 歯学部ゼミナールの評価により選考を行う。</p> <p>2. 第2次選考 第1次選考に合格した者に対して面接（個人及びグループ）を課し、歯学部ゼミナール、大学入学共通テストの成績、自己推薦書及び調査書の評価と合わせて選考を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【大学入学共通テスト指定教科・科目】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">国</td> <td style="width: 60%;">国</td> <td rowspan="2" style="width: 25%; vertical-align: middle;">} から1（注）</td> </tr> <tr> <td>地歴</td> <td>「地総、地探」、 「歴総、日探」、 「歴総、世探」 「地総／歴総／公」</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>「公、倫」、 「公、政・経」</td> <td></td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>「数学Ⅰ、数学A」 「数学Ⅱ、数学B、数学C」</td> <td></td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>「物理」、 「化学」、 「生物」 から2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>英、独、仏 から1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>情</td> <td>情報Ⅰ</td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: right; margin-top: 5px;">〔6教科8科目〕</p> <p>※「地総／歴総／公」については2つを選択解答するため、選択解答した2つを1科目として採用する。</p> <p>(注) 地歴・公民を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。</p> </div>		国	国	} から1（注）	地歴	「地総、地探」、 「歴総、日探」、 「歴総、世探」 「地総／歴総／公」	公民	「公、倫」、 「公、政・経」		数	「数学Ⅰ、数学A」 「数学Ⅱ、数学B、数学C」		理	「物理」、 「化学」、 「生物」 から2		外	英、独、仏 から1		情	情報Ⅰ	
国	国	} から1（注）																				
地歴	「地総、地探」、 「歴総、日探」、 「歴総、世探」 「地総／歴総／公」																					
公民	「公、倫」、 「公、政・経」																					
数	「数学Ⅰ、数学A」 「数学Ⅱ、数学B、数学C」																					
理	「物理」、 「化学」、 「生物」 から2																					
外	英、独、仏 から1																					
情	情報Ⅰ																					
出願期間	令和8年11月9日（月） ～ 令和8年11月13日（金）																					
試験日	第1次選考 （歯学部ゼミナール）	令和8年11月28日（土）～令和8年11月29日（日） 選考結果は令和8年12月14日（月）に本人宛送付する。																				
	第2次選考 （面接）	令和9年1月22日（金）																				
合格者発表	令和9年2月10日（水）																					
その他	<p>「歯学部ゼミナール」の概要</p> <p>11月28日（土）午後：歯科口腔医学、歯科口腔医療に関する高校生レベルのゼミナールを開講（2～3コマ程度）</p> <p>11月29日（日）午前：前日に開講したゼミナールの理解度を測る評価試験を実施</p>																					

○歯学部第1次選考（歯学部ゼミナール）受験に際しての注意事項

- ① 第1次選考日の前日午後13時～17時に、歯学部の試験場を確認しておくこと。ただし、試験室への入室はできない。また、歯学部までの交通機関及び案内略図は、44、45ページを参照すること。
- ② 詳細については、**出願期間最終日の翌日以降に本学HPに掲載予定。**
- ③ 受験者は、**11月28日（土）は12時30分までに、11月29日（日）は9時までに所定の試験室に入室し、指定された席に着くこと。**
- ④ 各日とも、試験開始後30分以内の遅刻者（入室者）は受験を認めるが、試験時間等の延長はない。30分を超えた遅刻者には受験を認めない。なお、第1次選考の全てを受験しない場合は、第1次選考合格者とはなれない。
- ⑤ 第1次選考日当日は、**出願確認票（出願者が各自A4サイズでカラー印刷すること。書き込み不可）**を必ず持参すること。
- ⑥ 第1次選考日当日は、**身分証明書（生徒証・学生証・マイナンバーカード・パスポート・運転免許証・在留カード等（氏名及び生年月日の記載があり、顔写真付きで、試験日において有効なもの。）**を必ず持参すること。不正行為が疑われる場合や受験票を持参し忘れた場合など、本人確認のために提示を求めることがある。
- ⑦ 評価試験時、机の上には、出願確認票、黒鉛筆、シャープペンシル（シャープペンシルの芯は可（ケースは不可）、鉛筆キャップ、消しゴム、鉛筆削り（電動式、大型のもの及びナイフ類は不可。）、直線定規（分度器機能付及び三角定規は不可。線引用のもののみ可）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマーや学習タイマー・大型のものは不可。）、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）及び目薬以外の所持品を置いてはいけない。
- ⑧ 評価試験時、試験室では監督者の指示に従うこと。指示に従わない場合は、不正行為となることもある。また、試験時間中に用があるときは手を挙げること。
- ⑨ 評価試験中の退室はできない。ただし、体調不良等の場合は一時退室を認めるが、試験時間の延長は行わない。
- ⑩ 解答用紙等を持ち帰ってはならない。
- ⑪ 評価試験時、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類はアラーム等を解除し、電源を切り、かばん等に入れ、使用しないこと。これらの電子機器類をかばんにしまわず、身に付けていたり手に持っている不正行為となることもある。
なお、通信機能のある電子機器類は、かばんの中にしまっていなければ、電源が切られていても、使用しているものとし、不正行為となる（衣類のポケット等に入れていた場合も、使用しているものとし、不正行為となる。）。また、イヤホンは耳に装着していれば使用しているものとし、不正行為となる（不正行為の詳細については43ページを参照）。
- ⑫ 評価試験において不正行為を行った受験者は、第1次選考合格者とはなれない。なお、極めて悪質な不正行為を行った場合は、警察に被害届を提出する場合がある。
- ⑬ 受験者は、気象状況、交通状況などを考慮して十分にゆとりをもった日程で試験に臨むこと。
- ⑭ 疾病・負傷又は試験場に向かう途中の事故等の事由による追試験は実施しないが、所定の日程による試験実施が困難となるような次のア～ウの不測の事態が発生した場合は、再試験を実施することがあるので、試験当日の長崎大学ホームページ（<https://www.nagasaki-u.ac.jp>）で詳細について確認すること。
ア. 定期運行している交通機関の事故又は災害等で、相当の数の受験者に係るもの
イ. 試験開始後の不測の事態
ウ. 大規模の災害等
- ⑮ 耳栓は、監督者の指示が聞こえない場合があるので、使用できない。
- ⑯ 自動車、バイク等での試験場内への乗り入れを禁止する。また、近隣のコンビニエンスストア等の駐車場へは駐車しないこと。
- ⑰ 試験時間中に日常的な生活騒音等（監督者の巡視による足音・業務上必要な打合せなど、航空機・自動車・風雨・空調の音など、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音など、携帯電話や時計等の短時間の鳴動、周囲の建物のチャイム音など）が発生した場合でも救済措置は行わない。

実施学部・学科名	工学部 工学科		
募 集 人 員	総合型選抜Ⅰ・A	社会環境デザイン工学コース	8人 ※次頁の選抜方法等を参照
	総合型選抜Ⅰ・B	機械工学コース	8人
		電気電子工学コース	9人
		構造工学コース	2人
		社会環境デザイン工学コース	5人 ※次頁の選抜方法等を参照
		化学・物質工学コース	5人
出 願 要 件	<p>【総合型選抜Ⅰ・A】 次のいずれかに該当し、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校又は中等教育学校を令和7年4月以降に卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者、あるいは特別支援学校の高等部又は高等専門学校の第3年次を令和7年4月以降に修了した者及び令和9年3月に修了見込みの者 2. 外国において、学校教育における12年の課程を令和7年4月以降に修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和7年4月以降に修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者 4. 文部科学大臣の指定した者 ただし、国際バカロレア資格等については、令和7年4月以降に取得した者及び令和9年3月31日までに取得見込みの者 5. 高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び令和9年3月31日までに合格見込みの者で、かつ、18歳に達するもの 6. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和9年3月31日までに18歳に達するもの 		
	<p>【総合型選抜Ⅰ・B】 次の各号に該当し、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校又は中等教育学校における専門教育を主とする学科又は総合学科を令和7年4月以降に卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者、あるいは特別支援学校の高等部（専門教育を主とする学科）又は高等専門学校の第3年次を令和7年4月以降に修了した者及び令和9年3月に修了見込みの者 2. 出身学校において開設される科目のうち、工業に関する科目を20単位以上修得した者及び令和9年3月までに修得見込みの者（ただし、電気電子工学コースについては、工業又は水産（電気・通信）に関する科目を20単位以上修得した者及び令和9年3月までに修得見込みの者、社会環境デザイン工学コースについては、工業又は農業（土木）に関する科目を20単位以上修得した者及び令和9年3月までに修得見込みの者） 		

選 抜 方 法 等	自己推薦書，調査書の評価，適性評価，基礎学力評価の結果等を総合して合格者を決定する。		
	1. 第1次選考 自己推薦書及び調査書により選考を行う。		
	2. 第2次選考 第1次選考に合格した者に対して，適性評価として個人面接（コースによっては課題作文を含む。）を行うとともに基礎学力評価として基礎学力テスト（筆記試験）を課す。 ※社会環境デザイン工学コースにおいて，区分A，区分Bのいずれかの区分の合格者数が募集人員に満たない場合は，その不足した人員をもう一方の区分の募集人員に加えて，最終的に各区分の合格者を決定する。		
	第2次選考についての各コースの内容は次表のとおりである。		
	・適性評価の内容		
	コース	形態・内容等	評価事項等
	機械工学	個人面接	アドミッション・ポリシーとともに，本コースの特徴を理解しているか等を問う。また，分野関心度，論理的な発想の豊かさ等を評価。
	電気電子工学	個人面接	面接では，本コースへの理解度，関心度，志望動機を評価。
	構造工学	個人面接	志望動機，分野関心度，論理的思考力，発想の豊かさ等を総合的に評価。
	社会環境デザイン工学	個人面接と課題作文	分野関心度，論理的思考力，発想の豊かさ等を問う，志望動機及び適性を評価。
化学・物質工学	個人面接	本コースの特徴を理解しているか等を問う。また，志望動機，分野関心度，論理的思考，発想の豊かさ，課題解決能力を評価。	
・基礎学力評価の内容			
コース	形態・内容等	評価事項等	
機械工学	基礎学力テスト (筆記試験)	英語の基礎学力，数学の基礎学力，理科の基礎学力。	
電気電子工学			
構造工学			
社会環境デザイン工学			
化学・物質工学			
出 願 期 間	令和8年9月1日（火）～ 令和8年9月7日（月）		
試 験 日	第1次選考 (書類選考)	選考結果は令和8年9月29日（火）に本人宛送付する。	
	第2次選考 (適性評価・基礎学力評価)	令和8年10月16日（金）	
合 格 者 発 表	令和8年11月2日（月）		
そ の 他	入学手続き者に対しては，入学までの期間，在学する学校長の許諾を得た上で，入学前教育を行うこととしている。その内容については，合格者発表後に通知する予定である。		

実施学部・学科名	水産学部 水産学科	
募集人員	5人	
出願要件	<p>高等学校又は中等教育学校における専門教育を主とする学科又は総合学科を令和9年3月卒業見込みの者又は高等専門学校第3年次を令和9年3月修了見込みの者で、次の各号に該当するもの</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校学習指導要領に定める主として専門学科において開設される農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報及び福祉の8教科に属する科目を20単位以上修得した者及び令和9年3月までに修得見込みの者 2. 合格した場合は、入学することを確約できる者 	
選抜方法等	<p>自己推薦書、諸活動の記録、調査書、課題論文、小テスト、面接の評価を総合して合格者を決定する。ただし、第2次選考における面接の得点率が21%未満の者は不合格とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第1次選考 自己推薦書、諸活動の記録及び調査書により選考を行う。 2. 第2次選考 第1次選考に合格した者に対して、課題論文、小テスト（論理的思考能力及び英語に関する基礎学力を問う）及び面接を行う。 	
出願期間	令和8年9月1日（火）～令和8年9月7日（月）	
試験日	第1次選考 （書類選考）	選考結果は令和8年9月29日（火）に本人宛送付する。
	第2次選考 （課題論文・小テスト・面接）	令和8年10月10日（土）
合格者発表	令和8年11月2日（月）	
その他	入学手続者に対しては、入学までの期間、在学する学校長の許諾を得た上で、入学前教育を行うこととしている。その内容については、合格者発表後に通知する予定である。	

*** 総合型選抜の第2次選考における実施教科・科目等及び配点**

区分	学部学科等名		大学入学共通テスト・学力検査等の配点等																			
			試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	面接	筆記試験	課題論文	歯学部ゼミナール	適性評価(注4)	基礎学力評価(注4)	小テスト	自己推薦書	調査書	配点計		
総合型選抜Ⅰ	多文化社会学部	多文化社会学科(一般枠)	共通テスト																			
			学力検査等								50	100										
	計								50	100									150			
	多文化社会学科(グローバル・国際バカロレア枠)	共通テスト																				
学力検査等										50	100											
計									50	100									150			
総合型選抜Ⅱ	教育学部	小学校教育コース	共通テスト	100				100		200	20									420		
			学力検査等									300									300	
			計	100				100		200	20	300									720	
総合型選抜Ⅰ	経済学部	総合経済学科	共通テスト																			
			学力検査等									70	30								100	
			計									70	30								100	
総合型選抜Ⅱ	経済学部	総合経済学科	共通テスト	*50	*50	*50	*50	*50	*50	*50										100		
			学力検査等									100									100	
			計	*50	*50	*50	*50	*50	*50	100											200	
総合型選抜Ⅱ	歯学部	歯学科	共通テスト	100	50	200	250	250	50											900		
			学力検査等								100		200						50		350	
			計	100	50	200	250	250	50	100		200						50			1250	
総合型選抜Ⅰ	工学部	機械工学コース	共通テスト																			
			学力検査等												100	100					200	
			計												100	100					200	
		電気電子工学コース	共通テスト																			
			学力検査等												100	100						200
			計												100	100						200
		構造工学コース	共通テスト																			
			学力検査等												100	100						200
			計												100	100						200
		社会環境デザイン工学コース	共通テスト																			
学力検査等													100	100						200		
計													100	100						200		
化学・物質工学コース	共通テスト																					
	学力検査等												100	100						200		
	計												100	100						200		
総合型選抜Ⅱ	環境科学部	選抜方法A(文系受験)	共通テスト	200	*200	100	100	200	20											820		
			学力検査等								500										500	
			計	200	*200	100	100	200	20	500											1320	
	選抜方法B(理系受験)	共通テスト	100	*100	200	200	200	20												820		
		学力検査等								500											500	
		計	100	*100	200	200	200	20	500												1320	
総合型選抜Ⅰ	水産学部	水産学科	共通テスト																			
			学力検査等								40		20					40			100	
			計								40		20					40			100	

注1)「総合型選抜Ⅰ」は大学入学共通テストを課さないもの、「総合型選抜Ⅱ」は大学入学共通テストを課すものを表す。

2) 配点に*印を付してある教科は選択科目を表す。

3) 大学入学共通テストの配点は、配点等欄のとおり換算して利用する教科等がある。ただし、外国語(英語)はリーディング(160点満点)とリスニング(40点満点)の4:1の比率に変更し、その合計得点を配点等欄のとおり換算して利用する。なお、リスニング免除者においては、リーディング(100点満点)を2倍したものを外国語の得点とし、各学部の配点に換算する。

4) 工学部各コースの「適性評価」及び「基礎学力評価」の詳細については29ページ「選抜方法等」及び54ページ「採点・評価基準」参照のこと。

【 教科・科目名の表記方法について 】

大学入学共通テストの出題教科・科目名は、次のように略してあります。

教科名		科目名			
略称	正式名称	略称	正式名称	略称	正式名称
国	国語	国	国語		
地歴	地理歴史	地総, 地探	地理総合, 地理探究	歴総, 日探	歴史総合, 日本史探究
		歴総, 世探	歴史総合, 世界史探究		
		地総/歴総/公	地理総合/歴史総合/公共		
公民	公民	公, 倫	公共, 倫理	公, 政・経	公共, 政治・経済
数	数学	数 I	数学 I	数 I, 数 A	数学 I, 数学 A
		数 II, 数 B, 数 C	数学 II, 数学 B, 数学 C		
理	理科	科目名については略していない。			
外	外国語	英	英語	独	ドイツ語
		仏	フランス語	中	中国語
		韓	韓国語		
情	情報	科目名については略していない。			

【 大学入学共通テストの「地理歴史, 公民」及び「理科」の出題方法等について 】

教科	出題科目	出題方法(出題範囲, 出題科目選択の方法等)
地理歴史	『地理総合, 地理探究』 『歴史総合, 日本史探究』 『歴史総合, 世界史探究』 『公共, 倫理』 『公共, 政治・経済』 『地理総合/歴史総合/公共』→(a)	<ul style="list-style-type: none"> 左記出題科目の6科目のうちから最大2科目を選択し, 解答する。 (a)の『地理総合/歴史総合/公共』は, 「地理総合」, 「歴史総合」及び「公共」の3つを出題範囲とし, そのうち2つを選択解答する(配点は各50点)。 2科目を選択する場合, 以下の組合せを選択することはできない。 <u>(b)のうちから2科目を選択する場合</u> 『公共, 倫理』と『公共, 政治・経済』の組合せを選択することはできない。 <u>(b)のうちから1科目及び(a)を選択する場合</u> (b)については, (a)で選択解答するものと同一名称を含む科目を選択することはできない。※ 下表を参照。
公民	(a): 必履修科目を組み合わせた出題科目 (b): 必履修科目と選択科目を組み合わせた出題科目	
理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』 『物理』 『化学』 『生物』 『地学』	<ul style="list-style-type: none"> 左記出題科目の5科目のうちから最大2科目を選択し, 解答する。 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』は, 「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」及び「地学基礎」の4つを出題範囲とし, そのうち2つを選択解答する(配点は各50点)。

※受験する科目数は, 大学入学共通テストの出願時に申し出る。

		(a)		
		「地理総合」 「歴史総合」	「地理総合」 「公共」	「歴史総合」 「公共」
(b)	『地理総合, 地理探究』	×	×	○
	『歴史総合, 日本史探究』	×	○	×
	『歴史総合, 世界史探究』	×	○	×
	『公共, 倫理』	○	×	×
	『公共, 政治・経済』	○	×	×

5. 出願手続

(1) 出願方法

インターネット出願

本学ホームページ「入試情報」→「入試情報サイト」→「インターネット出願」からインターネット出願システムを利用して出願を行う。

<https://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/internet/>

出願書類の様式は、<https://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/internet/application/>からダウンロードすること。

【注 意】

インターネット出願は、インターネットでの入力、共通テスト成績請求情報の提供手続き及び入学検定料の支払いを行っただけでは出願完了にはならない。

以下の出願の流れに沿って①から④までの手続きを行い、必要書類を出願締切日の17時までに本学に届くよう郵送すること。

【インターネットを利用した出願の流れ】

① 募集要項の確認(ダウンロード)(事前準備書類の印刷)



本学HP「入試情報サイト」から「募集要項」をダウンロードし、受験希望の学部・学科等の出願条件・試験科目・出願期間や試験日等を確認する。

※志望理由書等、事前に自分で印刷して準備する書類もあるので注意すること。

② 出願情報の登録(一時保存機能付き)



パソコン又はスマートフォンから本学HP「入試情報サイト」のインターネット出願ページにアクセスし、画面の指示に従って登録内容を入力する。

【登録内容】◎入試区分の選択 ◎学部・学科・受験科目等の選択

◎氏名・連絡先等の個人情報の入力 ◎証明写真データのアップロード

※一時保存機能により、検定料支払い前に学校の先生や保護者の方の確認も可能。

※登録後に発行される整理番号とセキュリティコードは、受験票を印刷する際に必要となるので、必ずメモをとる等して控えること。

※検定料支払い後は、登録内容の変更はできないので、支払い前に再度確認すること。

③ 支払方法の選択・支払い



入学検定料の支払い方法を次から選択する。

◎クレジットカード ◎コンビニエンスストア ◎銀行ATM(ペイジー) ◎ネットバンキング
選択した支払い方法に従って、出願締切日までに**出願書類を郵送**できるように入学検定料を支払うこと。

④ 必要書類の印刷・郵送



インターネット出願システムから出願確認票を印刷し、自分で準備した調査書等の必要書類とともに封筒に入れる。

その封筒にシステムから印刷した宛名ラベルを貼り、長崎大学へ出願締切日の17時までに届くように郵送し、出願完了となる。

【総合型選抜Ⅱの出願者のみ】大学入学共通テスト「申込番号」等の入力



総合型選抜Ⅱの出願者は、①～④のほか、②の出願情報の登録時及び④の必要書類の郵送後に、別途手続が必要となる。

学部によって出願期間が異なり、これに伴い、手続の手順及び内容も異なるため、40ページ(3)を確認の上、確実に対応すること。

【インターネット出願操作に関わるお問い合わせ】

出願受付操作サポート窓口 TEL 0120-752-257

お問い合わせの前に、以下の「よくある質問(Q&A)」を確認すること。

アドレス <https://www.guide.52school.com/guidance/net-nagasaki-u/faq/>

(2) インターネット出願登録開始日及び検定料支払開始日

区 分	学 部 名	出願登録開始日及び検定料支払開始日
総合型選抜Ⅰ	多文化社会学部，経済学部， 工学部，水産学部	令和8年 8月25日（火）～
総合型選抜Ⅱ	教育学部，環境科学部	令和8年 8月25日（火）～
	経済学部，歯学部	令和8年11月 2日（月）～

注) 下記の出願締切日時までに**出願書類を提出できるように登録及び支払いを済ませること。**

(3) 出願期間(出願書類等提出期間)

出願は郵送のみ受付(持参受付は行わないので、郵便事情を考慮し、余裕をもって出願すること。)

区 分	学 部 名	出 願 期 間	出願締切日時
総合型選抜Ⅰ	多文化社会学部，経済学部， 工学部，水産学部	令和8年 9月 1日（火） ～ 9月 7日（月）	9月 7日（月） 17時必着 （持参不可）
総合型選抜Ⅱ	教育学部，環境科学部	令和8年 9月 1日（火） ～ 9月 7日（月）	9月 7日（月） 17時必着 （持参不可）
	経済学部，歯学部	令和8年11月 9日（月） ～ 11月13日（金）	11月13日（金） 17時必着 （持参不可）

注1) 出願書類等を郵送する際は、市販の角形2号封筒に**インターネット出願システムから印刷した宛名ラベルを必ず貼り付け、簡易書留速達とし、各出願締切日の17時までに必着**するように郵送すること。

2) 出願書類について到着確認をしたい場合は、簡易書留郵便のお問い合わせ番号により、郵便局の追跡サービスで確認すること。

(4) 出願書類等

- ・以下の①～④の書類等を提出すること。
- ・各書類等の提出を要する学部については表の右側を参照すること。

① インターネット出願システムから印刷するもの 必ずA4サイズでカラー印刷すること。

出願書類等	摘 要	該当学部
出願確認票	出願内容等に間違いがないか確認して、インターネット出願システム登録後に印刷すること（出願確認票と宛名ラベルは、証明写真のアップロードと検定料の支払いが完了しないと印刷できない。）。	全学部
宛名ラベル	出願確認票は大学へ郵送する書類である。 宛名ラベルは出願書類郵送時に封筒に貼付（糊付け可）すること。	

② 出願者が各自で準備するもの

出願書類等	摘 要	該当学部
第1次選考結果等送付用封筒	長形3号封筒（12cm×23.5cm）に志願者の郵便番号、住所、氏名を明記し、410円分の郵便切手を貼付したもの	全学部
調査書	以下のうち該当するものを郵送すること。 1. 高等学校又は中等教育学校卒業（卒業見込み）の者、あるいは特別支援学校の高等部修了（修了見込み）の者 文部科学省が定めた様式により、出身学校長が作成し厳封したもの（1年以内に証明されたものであること。） ただし、特別な事情により調査書が得られない場合は、卒業証明書、成績通信簿（写）等を提出すること。この場合、学校長からの「調査書を発行できない旨の文書」を添付すること。なお、特別な事情とは、被災・廃校・記録の保存期間の経過その他の事情によるものことである。 ※留学に係る評定については、外国の高等学校の発行する成績や在籍、科目履修に関する証明書又はその写し（出身学校長が原本と相違ないことを証明したもの）を添付すること。 2. その他修了等（修了等見込み）の者 ① 高等専門学校第3年次修了者及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者については、調査書の様式に準じて出身学校長が作成したもの ② 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの、国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、フランス共和国のバカロレア資格取得者、英国のGCE-Aレベル資格取得者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者については、当該試験等の成績証明書	全学部
(次頁に続く)		

	<p>③ 高等学校卒業程度認定試験合格者（廃止前の大学入学資格検定合格者を含む。）は、合格成績証明書又は合格見込成績証明書。 ※合格証明書では受理できないので注意すること。 また、高等学校に在籍したことのある者および一部の科目を高等学校等で履修している者は、在学期間中の成績証明書又は調査書</p> <p>④ 本学の個別の入学資格審査を受けて認定された者は、「長崎大学入学資格認定書」の写し</p>																			
活動報告書	<p>前欄の「調査書」で、「1に該当する者のうち特別な事情により調査書が得られない者」及び「2に該当する者」（以下「調査書を提出できない者」という。）は、前欄の書類に加えて、34ページのURLからダウンロードした本学所定の用紙に記入し、必ず提出すること。</p>	経済学部及び環境科学部の志願者で左記に該当する者																		
<p>外国語検定試験の成績証明書等 提出書類の詳細は各学部の出願要件を確認すること</p>	<p>次の表に掲げる外国語検定試験の種類に応じて成績証明書等のいずれかの写しを提出すること。</p> <table border="1" data-bbox="432 815 1193 1599"> <thead> <tr> <th>外国語検定試験の種類</th> <th>成績証明書等の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>TOEFL iBT</td> <td>TOEFL iBT Test Taker Score Report (従来スコアの場合は 61 点以上, 総合バンドスコアの場合は 3.5 以上)</td> </tr> <tr> <td>TOEFL ITP</td> <td>TOEFL ITP Score Report (500 点以上)</td> </tr> <tr> <td>TOEIC L&R</td> <td>TOEIC Listening&Reading OFFICIAL SCORE CERTIFICATE (730 点以上)</td> </tr> <tr> <td>TOEIC S&W</td> <td>TOEIC Speaking&Writing OFFICIAL SCORE CERTIFICATE (TOEIC L&R との合計で 1000 点以上)</td> </tr> <tr> <td>実用英語技能検定(英検, 英検 CBT 又は 英検 S-CBT)</td> <td>実用英語技能検定 合格証明書 (準 1 級以上)</td> </tr> <tr> <td>IELTS</td> <td>IELTS Test Report Form (5.5 以上)</td> </tr> <tr> <td>GTEC(4 技能版)</td> <td>GTEC Official Score Certificate (1140 点以上)</td> </tr> <tr> <td>TEAP</td> <td>TEAP OFFICIAL SCORE REPORT FOR THE TEST OF ENGLISH FOR ACADEMIC PURPOSES (334 点以上)</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 1) 外国語検定試験は、令和 6 年 9 月以降に受験した試験に限る。ただし、実用英語技能検定(英検)については、二次試験を令和 6 年 9 月以降に受験した試験とする。 注 2) 外国語検定試験は公式スコアに限る（ただし、TOEFL ITP についてはこの限りではない。）。なお、TOEFL iBT (Home Edition を含む。)は Test Date スコアのみを対象とし、TOEIC IP 及び IELTS の One Skill Retake は対象としない。</p>	外国語検定試験の種類	成績証明書等の種類	TOEFL iBT	TOEFL iBT Test Taker Score Report (従来スコアの場合は 61 点以上, 総合バンドスコアの場合は 3.5 以上)	TOEFL ITP	TOEFL ITP Score Report (500 点以上)	TOEIC L&R	TOEIC Listening&Reading OFFICIAL SCORE CERTIFICATE (730 点以上)	TOEIC S&W	TOEIC Speaking&Writing OFFICIAL SCORE CERTIFICATE (TOEIC L&R との合計で 1000 点以上)	実用英語技能検定(英検, 英検 CBT 又は 英検 S-CBT)	実用英語技能検定 合格証明書 (準 1 級以上)	IELTS	IELTS Test Report Form (5.5 以上)	GTEC(4 技能版)	GTEC Official Score Certificate (1140 点以上)	TEAP	TEAP OFFICIAL SCORE REPORT FOR THE TEST OF ENGLISH FOR ACADEMIC PURPOSES (334 点以上)	多文化社会学部 一般枠
外国語検定試験の種類	成績証明書等の種類																			
TOEFL iBT	TOEFL iBT Test Taker Score Report (従来スコアの場合は 61 点以上, 総合バンドスコアの場合は 3.5 以上)																			
TOEFL ITP	TOEFL ITP Score Report (500 点以上)																			
TOEIC L&R	TOEIC Listening&Reading OFFICIAL SCORE CERTIFICATE (730 点以上)																			
TOEIC S&W	TOEIC Speaking&Writing OFFICIAL SCORE CERTIFICATE (TOEIC L&R との合計で 1000 点以上)																			
実用英語技能検定(英検, 英検 CBT 又は 英検 S-CBT)	実用英語技能検定 合格証明書 (準 1 級以上)																			
IELTS	IELTS Test Report Form (5.5 以上)																			
GTEC(4 技能版)	GTEC Official Score Certificate (1140 点以上)																			
TEAP	TEAP OFFICIAL SCORE REPORT FOR THE TEST OF ENGLISH FOR ACADEMIC PURPOSES (334 点以上)																			
学校教育プログラムの概要	<p>学校教育プログラムの概要、趣旨・目的、実施内容等がわかる書類で出身学校長が証明したもの及び当該プログラムの概要がわかる構想図を郵送すること。 なお、当該学校教育プログラムは、単位認定が行われる正規のプログラムに限る。</p>	多文化社会学部 グローバル枠																		

出願書類等	摘 要	該当学部
国際バカロレア資格証書の写し等	<p>国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格証書 (International Baccalaureate Diploma) の写しと IB 最終試験の成績証明書を郵送すること。</p> <p>【出願期間までに上記の書類が提出できない場合】</p> <p>在籍する (した) 学校長又は進路指導担当者が作成した国際バカロレア資格の取得見込み証明書 (様式任意) 及び「IB Predicted Grades」を郵送すること。</p> <p>合格者は、国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格証書 (International Baccalaureate Diploma) の写しと IB 最終試験の成績証明書を令和9年3月31日までに郵送すること。</p> <p>期限までに上記の書類を本学が受領できない場合、国際バカロレアルディプロマのスコアが32ポイントに満たなかった場合又は日本語 B (HL) のスコアが6ポイントに満たなかった場合は、合格取消となる。</p>	<p>多文化社会学部</p> <p>国際バカロレア枠</p>

注) 改姓等がある場合は証明する書類を併せて提出すること。

③ 本学所定の用紙 (HP に掲載) を印刷し作成するもの
必ず A4 サイズで印刷すること (全て片面印刷で提出すること。)

出願書類等	摘 要	該当学部
出願書類提出用表紙	34 ページの URL からダウンロードした本学所定の用紙に本人が記入し郵送すること。	全学部
自己推薦書 (様式 1)	<p>34 ページの URL からダウンロードした本学所定の用紙に本人が記入し郵送してすること。記入の際は各学部が指定する記載要領をよく読むこと。</p> <p>(注) 諸活動の記録 (様式 2-ii) C「生徒会活動、学級内の委員・係等」の高等学校等教諭の証明欄については、証明者から署名をもらうこと。</p>	全学部
諸活動の記録 (様式 2-i, ii)		多文化社会学部, 教育学部, 経済学部総合型選抜 II, 水産学部
諸活動の記録 (様式 2-iii)		
諸活動の記録 (様式 2-iv)		教育学部
課題研究報告書	34 ページの URL からダウンロードした本学所定の用紙に本人が記入し郵送すること。 (1000 字以内)	多文化社会学部 グローバル枠
課題の提出物	34 ページの URL からダウンロードした本学所定の用紙に本人が記入し郵送すること。 (1 ページ以内) なお、音楽又は家庭を希望する者は、別途録画映像 (ファイル形式は MP4) の提出が必要である。録画映像は所定の URL へアップロードすること。	教育学部
活動報告書 (調査書を提出できない者)	34 ページの URL からダウンロードした本学所定の用紙に本人が記入し郵送すること。 (600 字以内)	経済学部及び環境科学部の志願者で該当する者

(5) 検定料

以下を参照のうえ、検定料として17,000円を支払うこと。

- ① 支払期間は、35ページ「(2)インターネット出願登録開始日及び検定料支払開始日」を参照
- ② 支払い時に別途必要な手数料は、入学志願者本人の負担となる。
- ③ 既納の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しない。

ア 検定料を支払ったが長崎大学に出願しなかった（出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合、又は検定料を誤って二重に支払った場合には、支払った者の申し出により当該検定料相当額は返還する。返還にかかる手数料は、原則、入学志願者本人の負担とする。

イ 第1次選考の不合格者に対しては本人の申し出により13,000円を返還する（詳細は文書で通知する。）。

※ 問い合わせ先：長崎大学学生支援部入試課 TEL 095-819-2113

(6) 注 意 事 項

- ① 出願書類を郵送した時点で出願の意思ありと判断するため、それ以降の出願取消の申し出には一切応じない。
- ② 志望する学部・学科・コース等は、出願後の志願者による追加・変更は一切認めない。
- ③ 出願書類等に不備がある場合は、本学学生支援部入試課から電話等により連絡することがある。出願書類に不備があり出願締切日の17時までに解消されない場合は出願を受理できないので、「入力・記入もれ」、「誤入力・誤記」など不備がないよう十分確認すること。
- ④ 一旦受理した出願書類等はいかなる理由があっても返還しない。
- ⑤ 出願書類に虚偽の記載が発見された場合は、入学許可を取り消すことがある。
- ⑥ 第2次選考及び大学入学共通テストにおいて、志望する学部・学科等が指定した教科・科目等を全科目受験していなければ、合格者とはなれない。

6. 第1次選考結果等について

(1) 第1次選考結果の発送

区 分	学 部 名	第1次選考結果発送日
総合型選抜Ⅰ	多文化社会学部, 工学部, 水産学部	令和8年 9月 29日 (火)
	経済学部	令和8年 9月 17日 (木)
総合型選抜Ⅱ	教育学部, 環境科学部	令和8年 9月 29日 (火)
	経済学部	令和8年 12月 1日 (火)
	歯学部	令和8年 12月 14日 (月)

第1次選考合格者のみ、上記期日の11時頃にインターネット出願システム上で第2次選考のための受験票の印刷が可能となる（第1次選考不合格者は受験票の印刷はできない。）。
第1次選考不合格者には、不合格通知と併せて検定料の返還方法についての文書を発送する。

注1) 上記期日に合格通知又は不合格通知を発送する。

注2) 電話での合否の問合せには一切応じない。ただし、上記期日から3日経過しても通知文書が届かない場合に限り、速やかに長崎大学学生支援部入試課へ連絡すること。(連絡先:TEL095-819-2113)

(2) 受験票の印刷（第1次選考合格者のみ可能）

インターネット出願システムの申込確認画面から、整理番号とセキュリティコードを入力し、各自で受験票を印刷すること。

また、印刷の際は必ず **A4サイズでカラー印刷** すること。

(3) 大学入学共通テスト「申込番号」等の入力（総合型選抜Ⅱの出願者のみ）

総合型選抜Ⅱの出願者は、大学入試センターのマイページ上で「申込番号」等を確認でき次第、本学のインターネット出願システムで以下のとおり「申込番号」等を入力すること。

なお、**この「申込番号」等を入力しない場合は、合格者とはなれない。**また、期限までに入力できない者は学生支援部入試課へ連絡すること（連絡先：Tel095-819-2113）。

1) 「申込番号」の入力

① 教育学部及び環境科学部

本学への出願時には、大学入試センターのマイページ上で「申込番号」を確認することができないため、仮の「申込番号(**半角数字11桁**)」を入力して出願すること。

また、**第1次選考合格者**にあつては、正式な「申込番号」を、2)の入力時に併せて入力すること。

② 経済学部及び歯学部

本学への出願時に、大学入試センターのマイページ上で「申込番号」を確認して、本学のインターネット出願システム上でその番号を入力して出願すること。

2) 「ユーザID（メールアドレス）・パスワード」の入力

教育学部、環境科学部、経済学部及び歯学部の第1次選考合格者

本学への出願後（大学入試センターは、令和8年12月4日（金）の10時からの利用を予定している。）に、大学入試センターのマイページ上で当該ID及びパスワードを確認して、本学のインターネット出願システム上で、**令和8年12月22日（火）までに入力**すること。

※本学インターネット出願システムURL <https://exam-entry.52school.com/nagasaki-u/mypage>

7. 第2次選考の試験日時・試験場

区分	学部・学科名	期 日	科 目 等	時 間	試 験 場
総合型選抜Ⅰ	多文化社会学部 多文化社会学科	令和8年10月10日(土)	筆記試験	9:30～11:30	多文化社会学部
			面接(個人)	13:00～17:00 予定	
	経済学部 総合経済学科	令和8年10月17日(土)	筆記試験	10:00～11:00	経済学部
			面接(プレゼンテーション型)	13:00～17:00 予定	
	工学部工学科 機械工学コース 電気電子工学コース 構造工学コース	令和8年10月16日(金)	基礎学力テスト (英語・数学・物理)	9:30～11:00	工学部
			面接(個人)	12:30～17:30 予定	
			基礎学力テスト (英語・数学・物理)	9:30～11:00	
			課題作文	11:30～12:00	
			面接(個人)	13:30～17:30 予定	
			面接(個人)	13:30～17:30 予定	
	工学部工学科 化学・物質工学コース	令和8年10月16日(金)	基礎学力テスト (英語・数学・物理)	9:30～11:00	工学部
			基礎学力テスト (化学)	11:30～12:00	
面接(個人)			13:30～17:30 予定		
水産学部 水産学科	令和8年10月10日(土)	課題論文	9:00～10:00	水産学部	
		小テスト	10:30～11:50		
		面接(個人)	13:30～17:30 予定		
総合型選抜Ⅱ	教育学部 学校教育教員養成課程	令和8年10月10日(土)	面接(課題の制作等のプロセスについての質問も含む。)	9:30～17:00 予定	教育学部
	経済学部 総合経済学科	令和9年1月29日(金)	面接(個人)	13:00～17:00 予定	経済学部
	歯学部 歯学科	令和9年1月22日(金)	面接	13:00～17:30 予定	歯学部
	環境科学部 環境科学科	令和8年10月14日(水)	面接(プレゼンテーションを含む。)	9:30～13:00 予定	環境科学部

※ 受験者は、試験開始の30分前までに所定の試験室に入室し、指定された席に着席すること。
面接の集合時間が指定されている場合は、その指示に従うこと。

8. 第2次選考の受験に際しての注意事項

- (1) 受験学部の試験日の前日午後（13時～17時）に試験室を確認しておくこと。ただし、試験室への入室はできない。
- (2) 詳細については、**第1次選考結果発送日以降に本学HPに掲載することがある。**
- (3) 試験当日は、**長崎大学入学試験受験票（総合型選抜）（出願者が各自A4サイズでカラー印刷すること。書き込み不可）を必ず持参すること。**
また、**総合型選抜Ⅱ（経済学部及び歯学部のみ）の受験者は、大学入学共通テスト受験票（出願者が各自A4サイズで印刷すること。書き込み不可）も必ず持参すること。**
- (4) 試験当日は、**身分証明書**（生徒証・学生証・マイナンバーカード・パスポート・運転免許証・在留カード等（氏名及び生年月日の記載があり、顔写真付きで、試験日において有効なもの。))を**必ず持参**すること。不正行為が疑われる場合や受験票を持参し忘れた場合など、本人確認のために提示を求めることがある。
- (5) 受験者は、**試験開始の30分前までに所定の試験室に入室し、指定された席に着くこと。**
面接の集合時間が指定されている場合は、その指示に従うこと。
- (6) 試験開始後30分以内の遅刻者（入室者）は受験を認めるが、試験時間の延長はない。30分を超えた遅刻者には受験を認めない。ただし、面接については、指定された集合時間に遅れた場合、特別な事情がない限り、受験を認めない。
- (7) 試験中は、本学の受験票（総合型選抜Ⅱ（経済学部及び歯学部のみ）の受験者は大学入学共通テスト受験票も）を机の通路側上に置くこと。
- (8) 机の上には、受験票、黒鉛筆、シャープペンシル（シャープペンシルの芯は可（ケースは不可）、鉛筆キャップ、消しゴム、鉛筆削り（電動式、大型のもの及びナイフ類は不可）、直線定規（分度器機能付及び三角定規は不可、線引用のもののみ可）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマーや学習タイマー・大型のものは不可）、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけを取り出したもの）及び目薬以外の所持品を置いてはいけない。
- (9) 筆記試験においては、「始め」の合図があった後、解答用紙に氏名及び受験番号を記入し、解答を始めること。
- (10) 試験室では監督者の指示に従うこと。指示に従わない場合は不正行為となることがある。また、試験時間中に用があるときは手を挙げること。
- (11) 試験中の退室はできない。ただし、体調不良等の場合は一時退室を認めるが、試験時間の延長は行わない。
- (12) 解答用紙を持ち帰ってはならない。
- (13) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類はアラーム等を解除し、電源を切り、かばん等に入れ、使用しないこと。これらの電子機器類をかばんにしまわず、身に付けていたり手に持っているとは不正行為となることがある。
なお、通信機能のある電子機器類は、かばんの中にしまっていないと、電源が切られていても、使用しているものとし、不正行為となる（衣類のポケット等に入れていた場合も、使用しているものとし、不正行為となる。）。また、イヤホンは耳に装着していれば使用しているものとし、不正行為となる。
- (14) 不正行為を行った受験者については、それ以降の受験はできない。また、受験した試験の全ての成績は無効とする。なお、極めて悪質な不正行為を行った場合は、警察に被害届を提出する場合がある。
- (15) 正門付近などで、勧誘や資料の配布が行われている場合があるが、本学とは一切関係がないので注意すること。
- (16) 受験者は、気象状況・交通状況などを考慮して十分にゆとりをもった日程で試験に臨むこと。
- (17) 疾病・負傷又は試験場に向かう途中の事故等による追試験は実施しないが、所定の日程による試験実施が困難となるような次の①～③の不測の事態が発生した場合は、再試験を実施することがあるので、試験当日の長崎大学ホームページ（<https://www.nagasaki-u.ac.jp>）で詳細について確認すること。
 - ①. 定期運行している交通機関の事故又は災害等で、相当の数の受験者に係るもの
 - ②. 試験開始後の不測の事態
 - ③. 大規模の災害等
- (18) 耳栓は、監督者の指示が聞こえない場合があるので、使用できない。
- (19) 自動車、バイク等での試験場内への乗り入れを禁止する。また、近隣のコンビニエンスストア等の駐車場へは駐車しないこと。
- (20) 試験時間中に日常的な生活騒音等（監督者の巡視による足音・業務上必要な打合せなど、航空機・自動車・風雨・空調の音など、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音など、携帯電話や時計等の短時間の鳴動、周囲の建物のチャイム音など）が発生した場合でも救済措置は行わない。

9. 不正行為について

- ① 次のことをすると**不正行為**となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、**それ以後の受験はできなくなります**。また、**受験した試験の全ての（教科・科目）の成績を無効とします**。

- ア 志願票、受験票・写真票、解答用紙へ故意に虚偽の登録や記入（出願登録時に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど。）をすること。
- イ カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
- ウ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- エ 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
- オ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- カ 解答開始の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- キ 試験時間中に、直線定規以外の定規、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
- ク 試験時間中に、電子機器類（携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末、電子辞書、IC レコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等）を使用すること。
- ※通信機能のある電子機器類（携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末等）は、かばんの中にしまっていなければ、電源が切られていても、使用しているものとし、不正行為となる（衣類のポケット等に入れていた場合も、使用しているものとし、不正行為となる。）。
- ※イヤホンは、耳に装着していれば使用しているものとし、不正行為となる。（試験時間中、病気・負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮申請が必要である。）
- ケ 試験終了の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

- ② 上記①以外にも、次のことをすると**不正行為となることがあります**。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、①と同様です。

- ア 試験時間中に、直線定規以外の定規、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や電子機器類（電子辞書、IC レコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等）、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
- ※通信機能のある電子機器類（携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末等）は、かばんの中にしまっていなければ、電源が切られていても、使用しているものとし、不正行為となる（衣類のポケット等に入れていた場合も、使用しているものとし、不正行為となる。）。
- イ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ウ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。
- エ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- オ 試験場において監督者等の指示に従わないこと。
- カ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

- ③ 本学が入学者選抜において取り扱う受験票その他の書類について、記載内容の改ざん、書き換え又は不正使用が認められた場合は、不正行為として取り扱い、当該受験者の受験資格の取消し又は合格の取消し等の措置を講じることがあります。

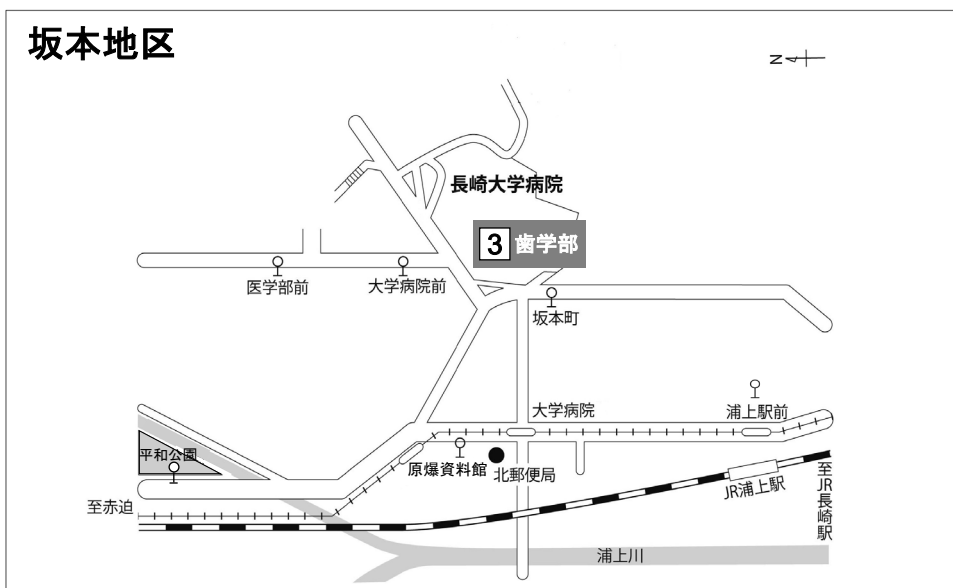
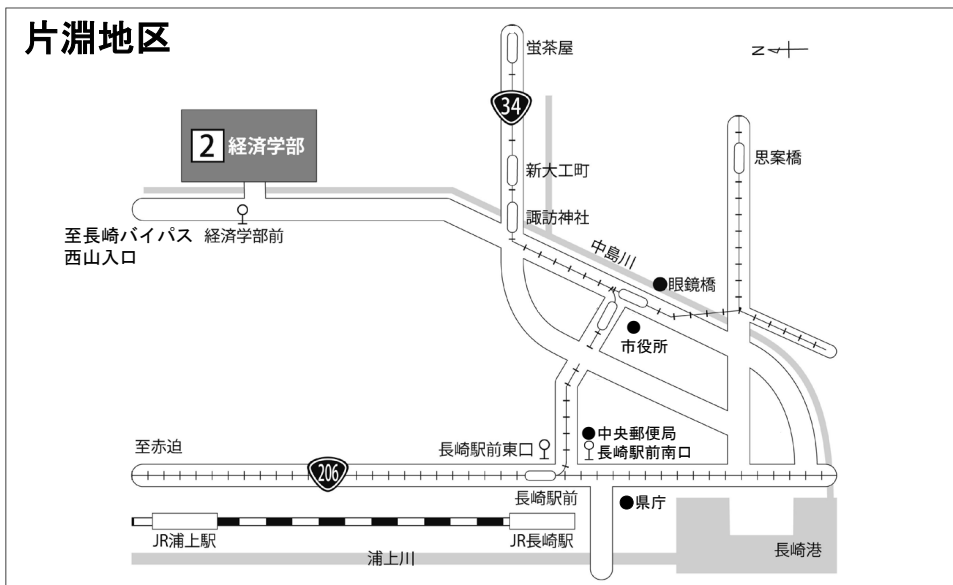
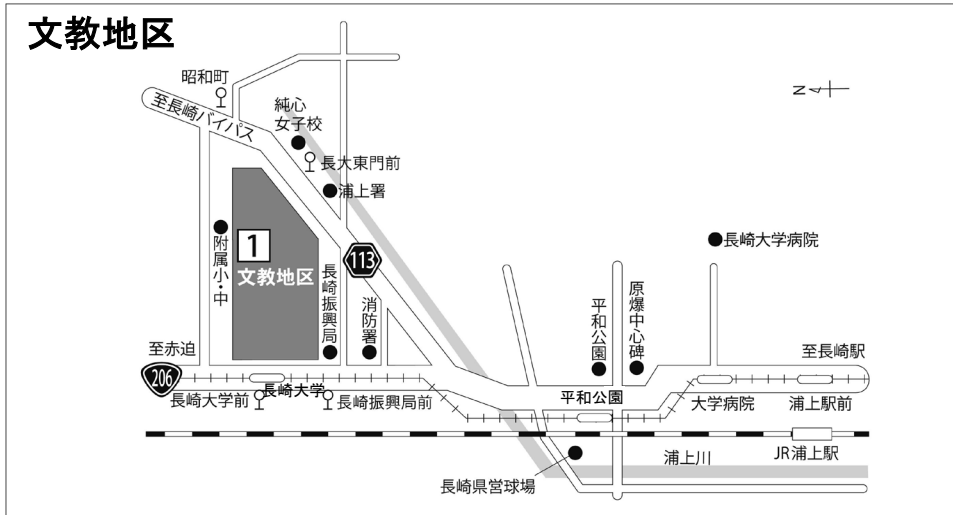
また、当該行為が法令に抵触するおそれがあると本学が判断した場合には、業務妨害等として関係機関へ相談することがあります。

10. 試験場までの交通機関

志望学部	試験場	交通機関	
多文化社会学部 教育学部 工学部 環境科学部 水産学部	1 長崎大学 文教地区 (長崎市文教町 1番14号)	JR 長崎駅から	<ul style="list-style-type: none"> ・路面電車利用 「長崎駅前」から「赤迫」行きで「長崎大学」下車 ・バス利用(長崎バス) 「長崎駅前」から1番系統「溝川」,「上床」,「上横尾」行きで「長崎大学前」下車
		JR 浦上駅から	<ul style="list-style-type: none"> ・路面電車利用 「浦上駅前」から「赤迫」行きで「長崎大学」下車 ・バス利用(長崎バス) 「浦上駅前」から1番系統「溝川」,「上床」,「上横尾」行きで「長崎大学前」下車
		長崎空港から	<ul style="list-style-type: none"> ・バス利用(県営バス) 「長崎空港4番のりば」から「長崎方面(長崎バイパス・昭和町・浦上経由)」行きで「長大東門前」下車(約45分)
経済学部	2 長崎大学 片淵地区 (長崎市片淵4丁目 2番1号)	JR 長崎駅から	<ul style="list-style-type: none"> ・路面電車利用 「長崎駅前」から「蛍茶屋」行きで「諏訪神社」又は「新大工町」下車, 徒歩約15分 ・バス利用(県営バス) 「長崎駅前東口」から「循環」,「立山・浜平」,「西山台団地」(土・日・祝日は乗り場が『長崎駅前南口』となる),「西山木場」行きで「経済学部前」下車
		長崎空港から	<ul style="list-style-type: none"> ・バス利用 ①(長崎バス, 県営バス:中央橋まで)「長崎空港5番のりば」から「長崎方面(出島道路経由)」行きで「中央橋」下車(約45分), →(県営バス:中央橋から)「循環」,「立山・浜平」,「西山台団地」,「西山木場」行きに乗り換えて「経済学部前」下車 ②(県営バス:JR長崎駅まで)「長崎空港4番のりば」から「長崎方面((長崎バイパス・昭和町・浦上経由)」行きで「長崎駅前ターミナル」下車(約60分), その後は上記JR長崎駅からと同様
歯学部	3 長崎大学 坂本地区 (長崎市坂本1丁目 7番1号)	JR 長崎駅から	<ul style="list-style-type: none"> ・路面電車利用 「長崎駅前」から「赤迫」行きで「大学病院」下車, 徒歩約10分 ・バス利用(長崎バス) 「長崎駅前」から「下大橋(江平高部経由)」行きで「大学病院前」又は「坂本町」下車
		JR 浦上駅から	<ul style="list-style-type: none"> ・路面電車利用 「浦上駅前」から「赤迫」行きで「大学病院」下車, 徒歩約10分
		長崎空港から	<ul style="list-style-type: none"> ・バス利用(県営バス) 「長崎空港4番のりば」から「長崎方面(長崎バイパス・昭和町・浦上経由)」行きで「浦上駅前」下車(約55分), その後は上記JR浦上駅と同様

※ 試験場案内略図は次ページを参照

* 各試験場の案内略図



11. 障がい等のある入学志願者との事前相談

障がい等のある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、**原則として出願期間開始3週間前**迄に下記の内容を記載した申請書（様式任意）に医師の診断書（大学入学共通テストでの受験上の配慮申請のために診断書を取得している場合は、その写しでも可。）を添え、学生支援部入試課へ提出し、事前に相談すること。申請書等の内容を検討の上、配慮について通知する。

上記期限経過後でも可能な限り事前相談に応じるが、十分な対応が出来なくなることもある。

入学者選抜において事前相談の内容によって受験者が不利益を被ることはない。

なお、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行うこともある。事前に相談がない場合は配慮が認められないこともある。

※申請書の内容（志願者の郵便番号・住所・氏名・連絡先電話番号・FAX 番号等を明記すること）

- | | |
|---|-----------------|
| ① 入試区分・志願学部・学科（コース・選抜方法） | ② 障がいの種類・程度 |
| ③ 受験上の配慮を希望する事項 | ④ 修学上の配慮を希望する事項 |
| ⑤ 出身学校等でとられていた配慮 | ⑥ 日常生活の状況 |
| ⑦ 大学入学共通テスト受験上の配慮事項決定通知書（写）【大学入学共通テストにおいて受験上の配慮決定通知を受けた者】 | |

○申請先：〒852-8521 長崎市文教町1-14 長崎大学学生支援部入試課 Tel 095-819-2113

☆本学では、長崎大学障がい学生支援室を設置して、障がい等のある学生及び障がい等のある入学志願者への支援を行っています。

12. 個別の入学資格審査

多文化社会学部（一般枠）、経済学部及び工学部（I・A）の出願要件の中で「本学における個別の入学資格」により出願を希望する者については、事前に本学の入学資格審査を受け、認定された場合に限り出願を認めるものとする。

(1) 入学資格審査の対象者

- ① 高等学校段階を有する外国人学校を卒業した者及び卒業見込みの者
- ② 中学校卒業で、各種の学校等での学習歴、社会での実務経験等に基づいて高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

(2) 申請期日及び申請先等

令和8年7月16日（木）

申請書類を郵送する場合は、必ず書留郵便とし、封筒表面に「長崎大学入学資格認定申請書」と朱書きすること（持参可）。

なお、不明な点は、下記に問い合わせること。

※申請先：〒852-8521 長崎市文教町1-14 長崎大学学生支援部入試課（Tel 095-819-2113）

(3) 申請書類

- ① 前記（1）①に該当する者
 - ア. 入学資格認定申請書（様式第1）
 - イ. 学習等の履歴書（様式第2）
 - ウ. 当該学校の教育が12年の課程であることを証明できるもの
 - エ. 当該学校の教育内容等を証明できるもの
 - オ. 卒業証明書又は卒業見込証明書（生年月日を記載したもの）
 - カ. 返信用封筒（長形3号封筒に郵便番号・住所・氏名を明記し、460円分の郵便切手を貼ったもの）

② 前記（１）②に該当する者

- ア. 入学資格認定申請書（様式第１）
- イ. 学習等の履歴書（様式第２）
- ウ. 各種の学校等での学習歴を証明できるもの
- エ. 社会経験等の履歴（様式第３）
- オ. 今までに取得した資格等を証明できるもの
- カ. 18歳に達した者であることを証明できるもの（健康保険証、運転免許証、パスポート等の写し）
- キ. 返信用封筒（長形３号封筒に郵便番号・住所・氏名を明記し、460円分の郵便切手を貼ったもの）

申請書類のうち、本学所定の様式（様式第１～第３）については、次の長崎大学ホームページからダウンロードすること。

<https://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/internet/application/file/R09/r09shinsa.pdf>

また、他大学において個別の入学資格審査による認定を受けた者は、その認定を受けたことを証明する書類の写しを添付すること。

(4) 入学資格審査基準

入学資格審査は、提出された申請書類によって行うものとする。

① 前記（１）①の申請者

申請者の当該学校の教育内容等が、高等学校学習指導要領に準じているかを精査し、高等学校と同等以上であるかを審査する。

当該学校の年間及び週当たりの授業時数、履修する主要教科・科目及び卒業までに必要な単位数が「高等学校学習指導要領に定める標準授業時数、すべての生徒に履修させる各教科・科目及び卒業までに修得させる単位数」と同等以上であること。

② 前記（１）②の申請者

申請者の学習歴、社会での実績等について精査し、高等学校卒業と同等以上の学力があるかを審査する。

(5) 審査機関

入学資格審査は、長崎大学入学者選抜委員会で行う。

(6) 入学資格審査結果の通知

入学資格審査の結果は、次の期日までに申請者宛に発送する。

令和８年 ８月 21日（金）

入学資格が認められた者には、「長崎大学入学資格認定書」を交付する。

また、入学資格を認められなかった者には、理由を付して審査結果を通知する。

(7) 長崎大学入学者選抜試験への出願

「長崎大学入学資格認定書」の交付を受けた者は、本学の入学者選抜試験に出願することができます。出願する際は、必ず「長崎大学入学資格認定書(写)」を添付すること。

なお、交付された本学の入学資格認定書は次年度以降も有効とする。

(8) その他

入学資格が認められた後であっても、申請書類の内容に事実と異なる点があった場合には、入学資格を取り消すものとする。

13. 長期履修制度

長期履修制度の内容及び申請に係る詳細（申請期間、申請できる学年等）は、各学部により異なるので、事前に入学を希望する学部の担当部署へ照会すること。

○長期履修制度について

長期履修制度とは、職業を有している等の事情により標準修業年限では修学困難な者に対して、標準修業年限を超えて一定期間にわたり計画的に教育課程を履修することを認めるものです。

長期履修を認められた者は、通常の標準修業年限において支払う授業料の総額を、長期履修期間として認められた期間に学期毎に均分して支払うことになります。

長期履修を申し出ることができる者は、次のいずれかに該当する者で、標準修業年限内の修学が困難な事情にあるものです。

- (1) 職業を有し、就業している者
- (2) 家事、育児、介護等に従事している者
- (3) 障がいのある者
- (4) その他相当の事由があると認められる者

【各学部照会先一覧】

学 部	電 話 番 号	担 当 部 署	
多文化社会学部	095-819-2030	人文社会科学域 事 務 部	多文化・教育学事務課（多文化）
教 育 学 部	095-819-2266		多文化・教育学事務課（教育）
経 済 学 部	095-820-6311		経済学事務課
歯 学 部	095-819-7613	生命医科学域・ 研 究 所 事 務 部	歯学系事務室
工 学 部	095-819-2490	総合生産科学域 事 務 部	学務課 工学学務係
環 境 科 学 部	095-819-2715		学務課 環境学務係
水 産 学 部	095-819-2796		学務課 水産学務係

14. 合格通知書の発送

第2次選考の合格者には、「合格通知書」をレターパックプラス（対面で届けられ、受領印又は署名が必要な郵便※）で下記の期日に発送する。

なお、不合格者への通知はしない。（電話による合否の照会には応じない。）

ただし、参考として、長崎大学ホームページ（<https://www.nagasaki-u.ac.jp>）に各発送日の下記時間に合格者受験番号を掲載する（掲示による合格者発表は行わない。）。

【合格通知書発送日】

区 分	発送日（HP 掲載予定時刻）
総合型選抜Ⅰ	令和8年11月2日（月）（11時頃）
総合型選抜Ⅱ	令和9年2月10日（水）（11時頃）

※ 不在の場合はポスト等に「不在票」が投かんされるので、担当郵便局へ再配達依頼等の連絡を必ず行うこと。

15. 入学手続等

合格した者は、下記により入学手続を行うこと。詳細については、合格者に別途通知する。

(1) 手続期日

【合格通知書受領後から下記の手続期日（16時必着）まで】

区 分	手続期日
総合型選抜Ⅰ	令和8年11月24日（火）16時必着（持参不可）
総合型選抜Ⅱ	令和9年2月17日（水）16時必着（持参不可）

注）郵送のみ可（持参による手続は行わないので、郵便事情を考慮し、余裕をもって郵送すること。なお、上記期日までに入学手続書類が到着しなかった場合は、入学を辞退したものと取り扱う。）

(2) 必要書類の提出

- ① 令和9年度長崎大学入学試験受験票（総合型選抜）
- ② 大学入試センターが発行する「国公立大学入学確認票」（総合型選抜Ⅱの合格者）
- ③ 誓約書、保証書、その他の書類（別途送付）

【②補足】大学入試センターからの通知によっては内容変更の可能性があります。

総合型選抜Ⅱにおいては、国公立大学への入学手続の際に「国公立大学入学確認票」の提出が必要です。

合格者が、大学入学共通テストの出願サイトから「国公立大学入学確認票」のPDFファイルを取得し、印刷した紙媒体を入学手続時に他の書類と併せて提出してください。

提出がない場合、入学手続を受け付けできません。

(1) 発行方法（大学入学共通テスト出願サイトから）

- 1) 共通テスト出願サイトにログイン（出願時のアカウントが必要）
- 2) マイページから「国公立大学入学確認票」を選択
- 3) 長崎大学を登録（選択）して、PDFファイルを発行（1人1大学のみ）
- 4) ダウンロードして、入学手続時に他の書類と併せて提出

※ 誤って発行した場合は、長崎大学と大学入試センターへ連絡してください。

(2) 発行可能期間（令和9年度入学者選抜試験）

令和9年2月2日（火）10:00～令和9年4月30日（金）17:00

(3) 納付金の納入

入学料 282,000 円

(注) 別途送付する「入学手続案内」の記載に従い、所定の方法により、入学手続時まで振込みすること。既納の入学料は返還しない。

参考

1. 令和 8 年度授業料 (年額) 535,800 円 (前期分 267,900 円, 後期分 267,900 円)
2. 授業料の納入時期は、前期分 4 月, 後期分 10 月になる。
3. 入学時及び在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される。
4. 入学料及び授業料については、免除又は徴収猶予の制度がある。詳細は、入学手続関係書類で通知する。

(4) 注意事項

- ① 本選抜による合格者は、下記③に定める入学辞退届を提出したものを除き、出願済の本学及び他の国公立大学 (※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下②において同じ。) の一般選抜を受験しても合格者とはならない。
※公立大学協会ホームページ <http://www.kodaikyo.org/>
- ② 本選抜による合格者が、前記入学手続期日までに入学手続を行わないときは、本学に入学する権利を消失するので十分注意すること。この場合において、本学及び他の国公立大学の一般選抜を受験しても合格者とはならない。
- ③ 本選抜による合格者で、特別の事情により入学を辞退する場合は、本学が定める「総合型選抜入学辞退届」を前記の入学手続期日までに提出しなければならない。
なお、詳細については、学生支援部入試課へ問い合わせること。
- ④ 本選抜による合格者及び入学手続者の個人情報 (氏名、高等学校等コード及び大学入学共通テストの受験番号のみ) は、国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うために、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達される。
- ⑤ 総合型選抜 I の入学手続者に対しては、入学前教育として課題等を課す。これについて、在籍高等学校等に承諾書 (所定の様式) の提出を求める予定である。
また、課題や講義・大学生活に関するスクーリング (原則参加) を開催する予定である。
入学前教育の詳細については、第 2 次選考の合格通知書発送時に通知する。

16. 学生寮に関するご案内

長崎大学では、学生寮に関する最新情報を大学公式 Web サイトにてご案内しています。
入居条件・申込方法・募集時期などの詳細については、以下の 2 次元バーコードからご確認ください。

●国際学寮ホルテンシア



お問い合わせ先 (土日祝日を除く)
長崎大学学生支援センター (学生支援課生活支援担当)
TEL 095-819-2103

●Uni E' terna 長崎文教 グローバルハウス



お問い合わせ先 (土日祝日を除く)
UniLife 長崎店
(株式会社ジェイ・エス・ビー・ネットワーク)
電話番号は HP からご確認ください。

●提携学生会館ドーミー (食事付・家具家電付) ・ドーミー長崎平和公園 ・ドーミー長崎新大工町



お問い合わせ先
株式会社共立メンテナンス
九州支店
TEL : 0120-88-4921

17. 総合型選抜志願者の一般選抜等への出願

本選抜において不合格となった場合に（又はその場合に備えて），国立大学志願者は，一般選抜において，「前期日程」で試験を実施する大学・学部から一つ，「後期日程」で試験を実施する大学・学部から一つ，合計二つまでの大学・学部へ出願することができる。なお，本学の総合型選抜Ⅱに出願した者は，本学の学校推薦型選抜Ⅱに出願することはできない。

また，出願する大学・学部の出願要件に留意すること。

〔本学の帰国生徒選抜の学生募集要項は令和8年7月上旬に発表する。学校推薦型選抜の学生募集要項は令和8年9月上旬に，一般選抜の学生募集要項は令和8年11月下旬に発表する予定である。〕

18. 問い合わせ先

〒 852-8521 長崎市文教町1番14号

長崎大学学生支援部入試課 TEL 095-819-2113

19. 個人情報の取扱

(1) 個人情報の利用

- ① 出願書類により取得された個人情報は，入学者選抜業務のために利用する。
また，合格者の個人情報は入学手続案内業務のため，入学者の個人情報は，学籍登録業務のために利用する。
- ② 出願書類により取得された高等学校等の成績は，奨学生への推薦資料に利用する。
- ③ 出願書類により取得された高等学校等の成績及び入学試験の成績（総合型選抜Ⅱにおいては，大学入学共通テストの成績を含む。）は，入学料免除等及び授業料免除等並びに各種奨学金の選考資料並びに教務関係業務に利用する。
- ④ 出願書類により取得された個人情報及び入学試験により取得された個人情報は，入学者選抜に関する統計調査・研究に利用する。
- ⑤ 出願書類により取得された個人情報及び入学試験により取得された個人情報は，個人情報の保護に関する法律に規定されている場合を除き，以上の目的以外の目的で利用すること又は第三者に提供することはない。

(2) 個人情報に関する業務の委託について

出願書類により取得された個人情報及び入学試験により取得された個人情報は，個人情報の適切な取扱いに関する契約等を締結した上で，データ登録業務を外部の事業者へ委託することがある。

20. 安全保障輸出管理について

本学は，外国人留学生等への教育・研究内容が国際的な平和及び安全の維持を阻害することが無いよう，「外国為替及び外国貿易法」に基づく安全保障輸出管理を行っている。それにより，希望する教育・研究内容の変更を求める場合があるので留意すること。

なお，詳細については，48ページの「各学部照会先一覧」まで問い合わせること。

21. 入試情報の提供

(1) 個人成績

個人成績については、インターネット出願時における希望の有無により開示します。出願期間後のメール、電話等による請求は受け付けませんのでご注意願います。

なお、第2次選考のみの成績を開示します。

① 請求方法

インターネット出願時の個人情報登録画面の「入試成績の開示請求」欄で「希望する」を選択してください。

② 開示内容

(1) 大学入学共通テストの教科ごとの得点（総合型選抜Ⅱに限る。）

（本学が判定に使用した教科の配点換算後の点数）

(2) 本学が実施する学力・実技等検査の得点

(3) (1) + (2) の総得点及び順位

③ 開示期間

令和9年6月1日（火）から6月30日（水）

④ 開示請求者

受験者本人に限ります。

⑤ 開示手数料

1回の出願につき開示請求手数料600円が必要です。入学検定料と併せて支払ってください。

⑥ 閲覧方法

長崎大学ホームページ（入試情報サイト）から個人成績開示システムへ進んでください。

<https://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/grades/>

「氏名（フリガナ）」、「受験番号」、インターネット出願時の「セキュリティコード」を入力すると閲覧できます。

出願期間から開示期間までは、かなりの期間がありますので「受験番号」及び「セキュリティコード」の管理には注意してください。

(2) 採点・評価基準

採点・評価基準については、53 ページ、54 ページに記載しています。

(3) 合否判定基準

合否判定基準については、55 ページに記載しています。

(4) 令和8年度総合型選抜実施状況

令和8年度総合型選抜実施状況は、56 ページに記載しています。

(2) 採点・評価基準

学部名	区分	採点・評価基準
多文化社会学部	総合型選抜Ⅰ (一般枠)	<ol style="list-style-type: none"> 第1次選考 自己推薦書, 諸活動の記録, 調査書等を評価する。 第2次選考 個人面接(日本語及び英語による。)及び筆記試験(論理的思考能力と洞察力(観察力)を問う。)を課し, 評価する。
	総合型選抜Ⅰ (グローバル枠・国際バカロレア枠)	<ol style="list-style-type: none"> 第1次選考 自己推薦書, 諸活動の記録, 調査書等(グローバル枠については, 学校教育プログラムの概要及び所定の様式による志願者の課題研究報告書を含む。)を評価する。 第2次選考 個人面接(日本語及び英語による。)及び筆記試験(論理的思考能力と洞察力(観察力)を問う。)を課し, 評価する。
教育学部	総合型選抜Ⅱ	<ol style="list-style-type: none"> 第1次選考 課題の提出物, 自己推薦書, 諸活動の記録, 調査書等を評価する。 第2次選考 面接(課題の製作等のプロセスについての質問も含む。)では, 個人面接時の自己表現に関するやり取りをとおして, 教職への志望の強さ, 主体的な学修意欲, 教育への関心等を評価する。
経済学部	総合型選抜Ⅰ	<ol style="list-style-type: none"> 第1次選考 自己推薦書, 調査書(調査書を提出できない者については, 活動報告書)により, 基礎的学力, 論理的思考力, 学習意欲, 主体性, 行動力等を評価する。評価は点数化する。 第2次選考 筆記試験により, 基礎的学力, 論理的思考力等を評価し, プレゼンテーション型面接(口頭試問を含む)により, 論理的思考力, コミュニケーション力, 学習意欲, 主体性, 行動力等を評価する。評価は点数化する。
	総合型選抜Ⅱ	<ol style="list-style-type: none"> 第1次選考 自己推薦書, 諸活動の記録, 調査書(調査書を提出できない者については, 活動報告書)により, コミュニケーション力, 学習意欲, 主体性, 行動力等を評価する。評価は点数化する。 第2次選考 大学入学共通テストにより, 基礎的学力, 論理的思考力, コミュニケーション力等を評価し, 個人面接により, コミュニケーション力, 学習意欲, 主体性, 行動力等を評価する。評価は点数化する。
歯学部	総合型選抜Ⅱ	<ol style="list-style-type: none"> 第1次選考 歯学部ゼミナールを点数化し評価する。 第2次選考 面接(個人及びグループ)を課し, 歯学部ゼミナール, 大学入学共通テストの成績, 自己推薦書, 調査書と併せて総合的に評価する。

学部名	区分	採 点 ・ 評 価 基 準
工 学 部	総合型選抜 I ・ A	<p>1. 第1次選考 自己推薦書及び調査書を点数化する。 自己推薦書では、志望する理由についての記述内容を総合的に評価する。 調査書では、①各科目の学習成績の状況、②出欠の記録、③「指導上参考になる諸事項」又は「備考」の欄等に記載された諸活動（生徒会活動、各種オリンピック、チャレンジ、グランプリ等への参加活動等）の記録を点数化する。なお、区分Bの受験者については、③にジュニアマイスター顕彰を含める。</p> <p>2. 第2次選考 (1) 適性評価 個人面接を行うとともにコースによっては課題作文を課す。志望動機及び志望コースで学ぶ適性（アドミッション・ポリシーに対する適性）を、分野関心度、基礎知識、論理的思考力、理解力、日本語による表現力、発想の豊かさ等の観点から、総合的に評価する。</p> <p>(2) 基礎学力評価 基礎学力テスト（筆記試験）で、教科に関する基礎学力や、志望コースの専門分野に関連する理科の科目等の基礎学力を総合的に評価する。調査書の各科目の学習成績の状況も総合評価の参考にする。</p>
	総合型選抜 I ・ B	<p>・ 出題範囲 英語： （全コース） 英語コミュニケーション I，英語コミュニケーション II，論理・表現 I 数学： （全コース） 数学 I，数学 A，数学 II，数学 B，数学 C の「ベクトル」 物理： （機械、構造、社会環境デザイン工学コース） 物理基礎の「物体の運動とエネルギー」、物理の「様々な運動」 （電気電子工学コース） 物理基礎、物理の「様々な運動」、「電気と磁気」 （化学・物質工学コース） 物理基礎 化学： （化学・物質工学コース） 工業化学（ただし、以下の項目を除く） ・「物質の変化とエネルギー」のうち「<u>原子核エネルギー</u>」 ・「石油と化学」のうち「<u>石油の精製と化学工業</u>」 ・「<u>生活と化学工業製品</u>」</p>
環 境 科 学 部	総合型選抜 II	<p>1. 第1次選考 自己推薦書、調査書を評価する。</p> <p>2. 第2次選考 面接（プレゼンテーションを含む。）では、他者へ伝える能力、粘り強く継続する力、思考力、意欲・積極性、環境への関心度を評価する。</p>
水 産 学 部	総合型選抜 I	<p>1. 第1次選考 自己推薦書、諸活動の記録及び調査書を点数化する。</p> <p>2. 第2次選考 課題論文、小テスト（論理的思考能力及び英語に関する基礎学力を問う）及び面接の評価を点数化する。 面接は個人面接で行い、志望動機、学部への関心、将来展望、高校生活等についての質疑応答から、入学への関心度、学力素養について総合的に評価する。</p>

(3) 合否判定基準

学部名	区分	合 否 判 定 基 準 (第 2 次 選 考)
多文化 社会学部	総合型選抜Ⅰ (一般枠)	(1) 筆記試験の得点率が30%未満の者は不合格とする。 (2) 面接の得点率が50%未満の者は不合格とする。 (3) (1), (2)を除いた者の中から、筆記試験と面接の総得点の高い順に合格者を決定する。 (4) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。
	総合型選抜Ⅰ (グローバル枠・ 国際バカロレア枠)	
教育学部	総合型選抜Ⅱ	(1) 面接の得点率が20%未満の者は不合格とする。 (2) (1)を除いた者の中から、大学入学共通テストと面接の総得点の高い順に合格者を決定する。 (3) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。
経済学部	総合型選抜Ⅰ	(1) 次のいずれかに該当する者は不合格とする。 (ア) 筆記試験の得点率が30%未満の者 (イ) プレゼンテーション型面接の得点率が40%未満の者 (2) (1)を除いた者の中から、筆記試験とプレゼンテーション型面接の総得点の高い順に合格者を決定する。 (3) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合は、その同点者全員を合格とする。
	総合型選抜Ⅱ	(1) 個人面接の得点率が40%未満の者は不合格とする。 (2) (1)を除いた者の中から、大学入学共通テストと個人面接の総得点の高い順に合格者を決定する。 (3) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合は、その同点者全員を合格とする。
歯学部	総合型選抜Ⅱ	(1) 面接の得点率が50%未満の者は不合格とする。 また、大学入学共通テストの指定教科・科目の総合計の得点率が、原則として65%未満の者は不合格とする。ただし、大学入試センターが発表する大学入学共通テスト(本試験)平均点等一覧(中間集計)における平均点を考慮して、大学入学共通テストの指定教科・科目の総合計の得点率が65%未満の者でも不合格者としめない場合がある。 (2) (1)を除いた者の中から、大学入学共通テスト、歯学部ゼミナール、面接、自己推薦書及び調査書の総得点の高い順に合格者を決定する。 (3) 総得点が同点の場合は、次の順序で決定する。 ① 大学入学共通テストの総合計の得点が上位の者 ② 歯学部ゼミナールの得点が上位の者 ③ 面接の得点が上位の者
工学部	総合型選抜Ⅰ・A	(1) 適性評価の得点率が30%未満の者は不合格とする。 また、適性評価と基礎学力評価の総得点の得点率が70%未満の者は不合格とする。 (2) (1)を除いた者の中から、適性評価と基礎学力評価の総得点の高い順に合格者を決定する。 (3) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。
	総合型選抜Ⅰ・B	
環境科学部	総合型選抜Ⅱ	(1) 面接の得点率が50%未満の者は不合格とする。 また、大学入学共通テスト指定教科・科目の総合計の得点率が、原則として50%未満の者は不合格とする。ただし、大学入試センターが発表する大学入学共通テスト(本試験)平均点等一覧(中間集計)における平均点を考慮して、大学入学共通テストの指定教科・科目の総合計の得点率が50%未満の者でも不合格者としめない場合がある。 (2) (1)を除いた者の中から、大学入学共通テストと面接の総得点の高い順に合格者を決定する。 (3) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合は、その同点者全員を合格とする。
水産学部	総合型選抜Ⅰ	(1) 面接の得点率が21%未満の者は不合格とする。 (2) (1)を除いた者の中から、学力検査等の総得点の高い順に合格者を決定する。 (3) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。

(4) 令和8年度総合型選抜実施状況

○総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）

学 部		課程等	募集人員	志願者数	第1次選考合格者数	合格者数	入学者数
多文化社会学部	一般枠	国際公共政策コース 社会動態コース 共生文化コース 言語コミュニケーションコース	6	8	8	6	6
		オランダ特別コース	3	4	4	3	3
	グローバル・国際バカロレア枠	国際公共政策コース 社会動態コース 共生文化コース 言語コミュニケーションコース	1	2	2	1	1
	計		10	14	14	10	10
経済学部		総合経済学科	20	68	44	21	21
工学部	機械工学コースB		8	5	5	2	2
	電気電子工学コースB		9	7	7	5	5
	構造工学コースB		2	3	3	1	1
	社会環境デザイン工学コースA		8	14	14	8	8
	社会環境デザイン工学コースB		5	2	2	1	1
	化学・物質工学コースB		5	2	2	1	1
	計		37	33	33	18	18
水産学部		水産学科	5	8	8	5	5
合 計			72	123	99	54	54

○総合型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）

学 部		課程等	募集人員	志願者数	第1次選考合格者数	合格者数	入学者数
教育学部	学校教育教員養成課程	小学校教育コース	4	9	9	4	4
環境科学部	選抜方法A（文系受験）		4	9	4	1	1
	選抜方法B（理系受験）			8	5	2	2
	計		4	17	9	3	3
経済学部		総合経済学科	25	57	52	25	25
歯学部		歯学科	5	24	24	5	5
合 計			38	107	94	37	37

○総合型選抜総合計

学 部		課程等	募集人員	志願者数	第1次選考合格者数	合格者数	入学者数
合 計			110	230	193	91	91

22. パソコン必携制度のご案内

◆ はじめに

パソコン必携制度は、ICT を活用したアクティブラーニングを行うための施策の一つであり、授業の進捗に応じて様々な学修体験を得ること、授業外においても授業中と同等な ICT 環境を利用できるようにすることを目的としています。また、学生生活や就職活動を見据え、所有する機器を使いこなす ICT スキル(生産性ツールの利活用、セキュリティ管理、さまざまなデバイスとの接続、クラウドの利用等)の涵養もその目的としております。

新入生の皆様には、大学へノートパソコンを持参して、ノートパソコンを利活用した様々な学修を行っていただきます。

◆ 必携パソコンについて

令和 9 年度必携パソコンの基本仕様は、令和 8 年 10 月頃、長崎大学ホームページの「受験生の入試情報サイト」でお知らせする予定です。情報リテラシー入門などの情報系の授業を始め、多くの授業は基本仕様を前提としています。すでに Microsoft Office(Web 版ではない)が十分な速度で動作するノートパソコン(メモリ:8GB、ディスク:SSD)をお持ちの場合、まずはそのノートパソコンをご持参ください。なお、昨年度の基本仕様は以下のページで案内しております。

<https://www.cc.nagasaki-u.ac.jp/pcsetup/spec.html#spec>

入学後、お持ちのノートパソコンで対応できない状況が生じたら、基本仕様を満たす機種への買い換えをご検討ください。新たにノートパソコンを購入する場合は、基本仕様を満たす機種をご購入ください。

なお、基本仕様に関する情報は、長崎大学 ICT 基盤センターウェブサイトの「必携パソコンサポート」(※1) に順次掲載いたします。

<https://www.cc.nagasaki-u.ac.jp/pcsetup/> (※1)

◆ ノートパソコンを購入(準備)できない方

経済的理由により購入ができない方のために、ノートパソコンを大学より貸与します。貸与は、学費負担者の収入が一定の基準を満たす方に対して行います。

長崎大学公式ホームページの「教育・学生生活」(※2) をご覧ください。

<https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/life/money/Personalcomputer/index.html> (※2)

ノートパソコン必携化に関する問い合わせ窓口

長崎大学 ICT 基盤センター・情報企画課 (平日: 9 時~17 時)

E-MAIL: pc_support@gl.nagasaki-u.ac.jp

23. 出願書類作成上の注意事項

(1) 全 般

ア. 黒ボールペンによる自筆とし、楷書で丁寧に記入すること。

イ. 数字については、算用数字を用いること。

ウ. 太線枠内の該当するものは、全て記入又は○印を付けること。

エ. 各書類の※欄は記入しないこと。

オ. 志望した学部・学科等を出願後に変更することは認めない。

カ. 各種添付書類については、志望する学部等が提出を求めているのか、枚数等に制限がないか、該当なしでもその旨記載して提出する等、志望する学部等の記載要領に従って提出すること。

(2) 自己推薦書、諸活動の記録

志望学部の記載要領をよく読み作成すること。諸活動の記録について、団体での活動等を記載する場合は、団体におけるあなたの役割・分担等を簡潔に記載すること。

氏名	
----	--

令和9年度 長崎大学総合型選抜

出願書類提出用表紙

総合型選抜に出願するにあたっては、以下の欄に記入した後、この用紙を各学部が定めた出願書類（志望する学部の記載要領をよく読み作成してください。）に添えて提出してください。

- この用紙の一番上の欄にあなたの氏名を記入してください。
- あなたが志望する学部及び学科・コース名を以下の欄に記入するとともに、経済学部又は工学部志望の場合は該当する入試区分に○印を付してください。

学 部	学部
学科・コース等	学科
	コース
	経済学部区分（ I II ） 工学部区分（ IA IB ） 環境科学部区分（ A B ）

- 各学部では以下の書類の提出を求めています。あなたが作成した書類を確認するため、志望する学部にも○を付けたうえで、作成書類の該当欄にある□にチェックしてください（枚数には添付資料を含みません）。

区 分	学 部	諸活動の記録										課題研究報告書 <small>（多文化社会学部 グローバル枠のみ）</small> 課題の提出物 <small>（教育学部のみ）</small> 活動報告書 <small>（経済学部、環境科学部で調査書を提出できない者のみ）</small>		
		自己推薦書（様式1）			(様式2-i, ii)		(様式2-iii)		(様式2-iv)		枚数			チェック
		テーマ	枚数	チェック	枚数	チェック	枚数	チェック	枚数	チェック				
総合型選抜 I	多文化社会学部	志望理由	3枚以内	<input type="checkbox"/>	2-i (ともに枚数制限なし)	<input type="checkbox"/>	枚数制限なし	<input type="checkbox"/>					4枚以内	<input type="checkbox"/>
	経済学部	テーマ1	2枚以内	<input type="checkbox"/>									2枚以内	<input type="checkbox"/>
		テーマ2	2枚以内	<input type="checkbox"/>										
	工学部	志望理由	2枚以内	<input type="checkbox"/>										
総合型選抜 II	教育学部	テーマ1	1枚	<input type="checkbox"/>	2-i : 1枚	<input type="checkbox"/>	1枚	<input type="checkbox"/>	1枚	<input type="checkbox"/>			1ページ以内	<input type="checkbox"/>
		テーマ2	2枚以内	<input type="checkbox"/>	2-ii : 1枚	<input type="checkbox"/>								
	経済学部	テーマ P68 参照	2枚以内	<input type="checkbox"/>	2-i (ともに枚数制限なし)	<input type="checkbox"/>	枚数制限なし	<input type="checkbox"/>						
	歯学部	志望理由	2枚以内	<input type="checkbox"/>										
環境科学部	志望理由	2枚以内	<input type="checkbox"/>										2枚以内	<input type="checkbox"/>

注 様式2-i, ii, iii, ivについて、提出が指定されている場合で、記載する内容がない項目は、当該項目の欄に「該当なし」と記入して、提出してください。

- 自己推薦書（様式1）は、記述欄下部の（ ）に枚数を記入してください。
 なお、経済学部総合型選抜 I 志願者は様式1（テーマ2）において、環境科学部志願者は様式1（志望理由）において、添付資料の有無について該当する方を○で囲んでください。
- 様式下段に学部、学科、課程、コース、経済学部区分、工学部区分、環境科学部区分を記入してください。
- 新型コロナウイルス感染症対策の影響により、部活動等の大会や資格・検定試験等の成果に関する書類等を提出できない場合も、必要に応じてその成果獲得に向けた努力のプロセス等を「自己推薦書(様式1)」に記載してください。
 なお、学部によっては、記載方法等を指定している場合がありますので、志望する学部の「自己推薦書」、「諸活動の記録」記載要領を必ず確認してください。
 また、記載内容については他の出願書類と併せて総合的に評価します。

受付番号※	受験番号※
-------	-------

※欄は記入しないこと。

令和9年度 長崎大学総合型選抜Ⅰ（多文化社会学部） 「自己推薦書」，「諸活動の記録」記載要領

I. 自己推薦書を，下記要領に従って，あなた自身で黒ボールペンを用いて書いてください。

様式1：[次のテーマについて記述してください。記述の際は，様式上部のテーマ欄に「志望理由」と記載のうえ，記述してください。]

テーマ 志望理由

- ・長崎大学多文化社会学部を志望する理由について，学部（オランダ特別コースの場合はコース）の特色を踏まえて，①入学後に学びたいこと，②長崎大学多文化社会学部を卒業後にどのような進路を考え，社会に貢献したいか，記述してください（1200字以内）。

II. あなたの諸活動の記録（活動の成績，資格・検定・段位）を，下記要領に従って，あなた自身で黒ボールペンを用いて書いてください。

様式2-i，ii：あなたが行った主要な活動について，分野別，年月日順に記載してください。分野は「文化」，「スポーツ」，「生徒会，学級内の委員・係等」，「その他ボランティア活動等（留学含む）」です。記入する事項が多い場合は，該当する項目が含まれている用紙をA4判に必要な枚数だけコピーし，記入してください。

- ①「文化」，「スポーツ」，「その他ボランティア活動等」に関しては，活動場所が高等学校等の校内か校外かを問いませんが，活動場所を明確にするために，記入する項目を（校内）と（校外）に分けてわかりやすくまとめてください。
 - (1) 2日以上の場合，開始年月日を記載し，カッコ欄に終了年月日も記載してください。
 - (2) 成績が事実であることを証明する書類（表彰状，新聞等の記事，論文，その他）のコピー（A4判に縮小・拡大してください。）を必ず添付してください。
 - (3) 団体活動の場合，団体におけるあなたの役割・分担等を簡潔に記入してください。
 - (4) 証明書類がどの活動の成績に対応するか判別できるように，証明書類に様式2-i，iiの項目番号（右下に記入）を付けてください。
- ②「生徒会，学級内の委員・係等」は，高等学校等における活動に限定します。また，高等学校等教諭の署名を必要とします。

様式2-iii：あなたが持っている主要な資格・検定・段位（出願要件となっている外国語検定試験を含む。）を記載してください。

- ① 資格・検定・段位が事実であることを証明する書類（TOEFL，TOEIC，英検，IELTS，GTEC，TEAP等の成績証明書，各種資格取得証明書等）のコピー（A4判に縮小・拡大してください。）を必ず添付してください。
- ② 証明書類がどの資格・検定・段位に対応するか判別できるように，証明書類に様式2-iiiの項目番号（右下に記入）を付けてください。
- ③ 記入する事項が多い場合は，A4判に必要な枚数だけコピーし，記入してください。

令和9年度 長崎大学総合型選抜Ⅰ（経済学部） 「自己推薦書」記載要領

自己推薦書を，下記要領に従って，あなた自身で黒ボールペンを用いて書いてください。

様式1：[次の2つのテーマについてそれぞれ記述してください。記述の際は，テーマの下に書かれていることをよく読み，その指示に従ってください。様式上部のテーマ欄には次のテーマをそれぞれ記載してください。]

テーマ1 自己の将来目標並びに志望理由

- ・①自己の将来目標（大学卒業後どのように活躍したいか），②これまでに学んできたこと又は経験してきたことを踏まえ，入学後に経済学部で学びたいことを含めた志望理由を記述してください（800字以内）。

テーマ2 これまでに努力してきたこと

- ・①何を目標とし，②目標達成のため具体的にどのような努力をしてきたのか，③主体的にどのような創意・工夫を行ったか，この①から③について，以下の6分野を参考に記述してください。大会や資格・検定試験等について記載する場合は名称や開催時期を明記してください（800字以内）。
- ・成績や活動が事実であることを証明する書類（表彰状，新聞等の記事，論文，その他）がある場合はコピー（A4判に縮小・拡大してください。）を必ず添付してください。

【分野】

- ・ 文化
- ・ スポーツ
- ・ 生徒会，学級内の委員・係等
- ・ その他ボランティア活動等（国際交流活動，海外留学等を含む。）
- ・ 資格・検定・段位
- ・ 社会人としての経験

令和9年度 長崎大学総合型選抜Ⅰ（工学部） 「自己推薦書」記載要領

自己推薦書を，下記要領に従って，あなた自身で黒ボールペンを用いて書いてください。

様式1：[次のテーマについて記述してください。記述の際は，テーマの下に書かれていることをよく読み，その指示に従ってください。様式上部のテーマ欄には「志望理由」と記載してください。]

テーマ 志望理由

- ・長崎大学工学部工学科を志望する理由について，①志望コースの特徴，②入学後に学びたいこと，③長崎大学工学部を卒業後（大学院に進学する場合は大学院修了後）にどのような仕事に従事し社会に貢献したいか，を踏まえて記述してください（800字以内）。

様式2-i，ii，iii，iv，課題研究報告書，活動報告書：工学部においては提出の必要はありません。

令和9年度 長崎大学総合型選抜 I (水産学部) 「自己推薦書」, 「諸活動の記録」 記載要領

I. 自己推薦書を, 下記要領に従って, あなた自身で黒ボールペンを用いて書いてください。

様式1: [次のテーマについて記述してください。記述の際は, テーマの下に書かれていることをよく読み, その指示に従ってください。様式上部のテーマ欄には「志望理由」と記載してください。]

テーマ 志望理由

・長崎大学水産学部を志望する理由について, 記述してください(1200字以内)。

II. あなたの諸活動の記録(活動の成績, 資格・検定・段位)を, 下記要領に従って, あなた自身で黒ボールペンを用いて書いてください。

様式2-i, ii: あなたが行った主要な活動について, 分野別, 年月日順に記載してください。分野は「文化」, 「スポーツ」, 「生徒会活動, 学級内の委員・係等」, 「その他ボランティア活動等」です。「文化」, 「スポーツ」, 「その他ボランティア活動等」に関しては, 活動場所が高等学校等の校内か校外かを明確にするために, 記入する項目を(校内)と(校外)に分けてわかりやすくまとめてください。**成績が事実であることを証明する書類のコピー(A4判, 縮小・拡大可)を必ず添付してください。**団体活動の場合, 団体におけるあなたの役割を簡潔に記入してください。証明書類がどの活動の成績に対応するか判別できるように, 必ず証明書類に様式2-i, iiの項目番号(右下に記入)を付けてください。とくに生徒会活動については, 高等学校等教諭の署名が必要です。記入する事項が多い場合は, 該当する項目が含まれている用紙をA4判に必要な枚数だけコピーしてください。

様式2-iii: あなたが持っている主要な資格・検定・段位を記載してください。**資格・検定・段位が事実であることを証明する書類のコピー(A4判に縮小・拡大してください)を必ず添付してください。**証明書類がどの資格・検定・段位に対応するか判別できるように, 必ず証明書類に様式2-iiiの項目番号(右下に記入)を付けてください。記入する事項が多い場合は様式2-iiiを必要部数コピーし, 記入してください。

令和9年度 長崎大学総合型選抜Ⅱ（教育学部）
「自己推薦書」，「諸活動の記録」，「課題の提出物（課題レポート，録画映像）」
記載，作成，提出等要領

I. 自己推薦書を，下記要領に従って，あなた自身が黒ボールペンを用いて記述してください。

様式1：[次の2つのテーマについてそれぞれ記述してください。記述の際は，テーマの下に書かれていることをよく読み，その指示に従ってください。様式上部のテーマ欄には次のテーマをそれぞれ記載してください。]

テーマ1 志望理由

- ・現代の教育課題をふまえて，あなたが目指す教員像を示してください。その上で，あなたが，長崎大学教育学部小学校教育コースを志望する理由を記述してください（400字以内）。

テーマ2 努力してきたことや得意なこと

- ・高校生の時あるいは現在（中学校卒業以降），あなたが努力してきたことや，得意なことについて，説明してください。説明の中で様式2に挙げた事項に関連することは，項目番号で示してください。その上で，それが，現在のあなた自身にどのように影響しているかを記述してください（800字以内）。
- ・新型コロナウイルス感染症対策の影響により，部活動等の大会や資格・検定試験等の成果に関する書類等を提出できない場合も，必要に応じその成果獲得に向けた自律的な努力のプロセス等を，このテーマ2内に記載することができます。

- * テーマ1並びにテーマ2に記述した内容は，第2次選考で行う「面接（課題の製作等のプロセスについての質問も含む。）」で，詳しく説明できるものとします。

II. 自己推薦書 テーマ2に関連するあなたが高校生の時（中学校卒業以降）に行った諸活動の記録（活動の成績，資格・検定・段位）を，下記要領に従って，あなた自身が黒ボールペンを用いて記述してください。

様式2-i：A「文化」及びB「スポーツ」の分野におけるあなたが行った主要な活動の成績について，分野別，年月日順に，各分野3件以内で記載してください。なお，活動場所は，高等学校等の内か外かを問いません。

- (1) 2日以上以上の活動の場合は，開始年月日を記載し，カッコ内に終了年月日も記載してください。
- (2) 成績が事実であることを証明する書類をA4判でコピーし，必ず添付してください。
- (3) 団体活動の場合，団体におけるあなたの役割・分担等を簡潔に記載してください。
- (4) 証明書類がどの活動の成績に対応するかを判別できるように，証明書類に様式2-iの項目番号（右下に記入）を付けてください。

様式2-ii：C「生徒会活動，学級内の委員・係等」及びD「その他ボランティア活動等」の分野におけるあなたが行った主要な活動の成績について，分野別，年月日順に，各分野3件以内で記載してください。

- ① C「生徒会活動，学級内の委員・係等」の活動については，高等学校等における活動に限定します。高等学校等教諭の署名が必要です。
- ② D「その他ボランティア活動等」の活動に関しては，活動場所が高等学校等の内か外かを問いません。
 - (1) 2日以上以上の活動の場合は，開始年月日を記載し，カッコ内に終了年月日も記載してください。
 - (2) 成績が事実であることを証明する書類をA4判でコピーし，必ず添付してください。
 - (3) 団体活動の場合，団体におけるあなたの役割・分担等を簡潔に記載してください。
 - (4) 証明書類がどの活動の成績に対応するかを判別できるように，証明書類に様式2-iiの項目番号（右下に記入）を付けてください。

様式2-iii：あなたが持っている主要なE「資格・検定・段位」について，3件以内で記載してください。資格・検定・段位が事実であることを証明する書類のコピー（A4判に縮小・拡大してください。）を必ず添付してください。証明書類がどの資格・検定・段位に対応するか判別できるように，証明書類に様式2-iiiの項目番号（右下に記入）を付けてください。

様式 2-iv : F 「その他（研究や探究活動，芸術・文化活動等）」には，様式 2-i，ii，iii に該当しない，その他の活動について，3 件以内で記載してください。活動場所が高等学校等の内か外かを問いません。

- (1) 調査報告書や研究論文等については，A 4 判でコピーのうえ，表紙に氏名，発表場所，単独執筆か共同執筆かの別を記載し（共同執筆の場合はあなたが執筆した箇所を明記してください。），その事実を証明する書類も添付してください。提出できる枚数は表紙と証明書類を含め 15 枚（片面印刷）を上限とし，ページ番号を付けてください。
- (2) 芸術・文化活動等については，それが事実だとわかる写真等が入った資料を証明書類として提出してください。
- (3) 団体活動の場合，団体におけるあなたの役割・分担等を簡潔に記載してください。
- (4) 証明書類がどの活動に対応するかを判別できるように，証明書類に様式 2-iv の項目番号（右下に記入）を付けてください。

Ⅲ. 「課題の提出物（課題レポート，録画映像）」を，下記要領に従って，音楽・美術・技術・家庭のうち，希望する教科の課題を作成してください。各提出物は，所定の方法で提出してください。

下記要領に関するお問い合わせ先：095-819-2266【多文化・教育学事務課（教育学部学務担当）】

＊ 希望する教科の課題レポート（全ての志願者）

下記要領に従い作成した書類を，他の出願書類と合わせて出願期間内に郵送してください。
<各様式のダウンロード先 URL>

<https://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/internet/application/>

＊ 録画映像（音楽または家庭を希望する者）

下記要領に従い作成した録画映像データを，出願期間内にアップロードしてください。
<音楽または家庭に関する録画映像アップロード先 URL>

https://nudrive.nagasaki-u.ac.jp/public/8AJ7A97AtRANQMjMx0UMy_FuNfoEI6cymyN6k0tfW1DL

■ 「音楽」の実技課題：「演奏」

提出課題の内容：独唱または独奏での演奏

提出物①：「音楽」課題レポート（所定様式：A 4 サイズ）1 ページ以内

提出物②：演奏録画映像（ファイル形式：MP4）1 点（MOV などの別形式で録画した場合も，必ず MP4 に変換して提出）

作成要領及び注意事項等：

- (1) 演奏楽曲は自由曲一曲（演奏時間：10 分以内，オリジナル曲は不可）とし，独唱または独奏での演奏（電子楽器での演奏は不可）に限ります。なお，ピアノによる伴奏の有無は問いません。また，音源への編集・加工（リバーブ等）は不可とします。
- (2) 令和 8 年 7 月 1 日以降に録画された演奏とします。必ず録画開始とともに演奏日（年月日）及び氏名を述べて，演奏に入ってください。また，全身が主として映るよう撮影してください。
- (3) 演奏の録画映像は，提出前にパソコンで再生可能かを確認してください。
- (4) 録画映像のファイル名は，下記のとおりとしてください。
例：「音楽」 整理番号N●●●●●●●● 録画映像（7月25日作成）
＊「整理番号」とは「長崎大学出願確認表」の右上の欄に記載の N から始まる番号のこと。
- (5) 演奏の録画映像のほか，所定の『「音楽」課題レポート』を作成して提出してください。レポートには，どのような思いをもって演奏したか，演奏する際に留意した点，次回に向けて解決すべき課題について記述してください。

■「美術」の実技課題：「素描」

提出課題の内容：鉛筆による素描作品の制作

提出物：「美術」課題レポート（所定様式：A3サイズ・横向き）1ページ以内（素描作品の現物は提出不要，当該レポートのみを提出）

作成要領及び注意事項等：

- (1) 鉛筆（練り消し，擦筆等の補助具の使用は可能，色鉛筆やパステル等の着色画材は使用不可）による素描作品を制作してください。サイズは木炭紙大の紙（500mm × 650mm），モチーフは任意，制作時間は15時間以内，構図は縦構図のみ，背景は任意とします。
- (2) (1)の手順で制作した素描作品について，制作の開始から完成までの過程（(3)で指定する目安の時間ごと）を撮影してください。写真は，描いている手元ではなく，作品全体が画像枠の比率（縦長）に合わせて収まるように撮影してください。写真にて記録したデータを所定の『「美術」課題レポート』に貼付してください。印刷したものではなく画像データをそのまま貼付してください（別途画像データのみ提出は不要）。また，各段階での到達点と解決すべき課題をあわせて記入してください（それぞれ100-150文字程度）。
- (3) 写真による記録は，制作開始から3時間後，6時間後，9時間後，12時間後及び完成時（15時間以内）の各段階（計5枚）とします。なお撮影タイミングは目安であり，制作を中断しての撮影も可能です。中断・再開を繰り返す場合は，実制作の通算時間を計測し，各撮影タイミングを判断してください。また，15時間に達する前に完成した場合は，その時点の写真を「完成時」として使用してください。完成時には，当該作品の到達点と，次作に向けて解決すべき課題を記入してください。

■「技術」の実技課題：「ものづくり」

提出課題の内容：「身のまわりで使用できる製品のものづくり」に関する設計と製作

提出物：「技術」課題レポート（所定様式：A3サイズ・横向き）1ページ以内（製作品の現物は提出不要，当該レポートのみを提出）

作成要領及び注意事項等：

- (1) 「身のまわりで使用できる製品のものづくり」について，すでに製作した製品やこれから作ろうと思う製品の「設計レポート」及び「構想図」をまとめてください。製品の目的と用途，実際の製作に用いる材料，製品の特徴や工夫点を考え，「構想図」とともに所定の『「技術」課題レポート』に記述してください。なお，実際の大きさが分かるように「構想図」には寸法を[mm]単位で記入してください。また，構想する製品には目的を達成するために様々な機能を持たせても構いません。なお，アプリ開発やソフトウェア製作（プログラミング等）は対象外です。
- (2) (1)で設計した製品の概略が分かるような模型や製品を製作してください。実寸大の模型や実物を製作する必要はありません。段ボールや厚紙等を用いて試作してください。もちろん実物を製作しても構いません。なお，製作品が実物か模型か，実寸大か否かは評価に関係しません。
- (3) (2)で製作した模型や製品の形状や特徴が分かる写真を異なる3方向から撮影し，(1)のレポートに貼付してください。また，「自由記述」欄には，次回に向けて解決すべき課題に加え，製作過程で苦労した点，作って分かったこと，感じたこと，思ったこと，考えたことなどを記入してください。

■「家庭」の実技課題：「実技」

提出課題の内容：食物調理または被服製作に関する実技

提出物①：「家庭」課題レポート（所定様式：A4サイズ）1ページ以内

提出物②：実技録画映像（ファイル形式：MP4）2点（MOVなどの別形式で録画した場合も、**必ずMP4に変換して提出**）

作成要領及び注意事項等：

- (1) 「食物調理」または「被服製作」のどちらかを選択し、録画映像を作成してください。なお、作業時間は、調理はA群1品と+B群1品を合わせて60分以内、被服は60分以内とします。

<「食物調理」を選択する場合>

下記の各群から1品ずつを選択。切り方、加熱の仕方、盛り付けが明確にされていること。

[A群：豚肉と野菜の炒め物、ハンバーグ（玉ねぎ使用）、魚のムニエルとニンジン添え]

[B群：牛乳寒天、茶わん蒸し、果汁かん]

<「被服製作」を選択する場合>

アウターパンツ（1つポケット付き）を製作。ミシン縫い（三つ折りを含む）、手縫い（なみ縫い、まつり縫い、半返し縫い）が全て含まれていること。型紙作成の必要はなく、布は裁断されたものを使用すること。

- (2) 令和8年7月1日以降に録画されたものとします。必ず録画開始とともに作業日（年月日）及び氏名を述べて、作業に入ってください。録画の視点は2点とし、別々のファイルとしてください。1点目（その1）は全身が主として録画されているもの、2点目（その2）は手元が録画されているもの（製作時にはまな板や、フライパンなどの加熱器具、ミシンが録画されていること）とし、各映像の録画は同時に開始してください。録画については、加熱調理の前後やミシン工程で一時停止することは考慮します（例：切り方→加熱調理→盛り付け）。完成後は、製作品のアップ映像を示してください。食物作品A群は切った断面も示すこと。被服作品は表および裏も示してください。

- (3) 実技の録画映像は、提出前にパソコンで再生可能かを確認してください。

- (4) 録画映像のファイル名は、下記のとおりとしてください（2点とも作成日は同じであること）。

例：「家庭」 整理番号N●●●●●●●● その1（全身）録画映像（7月26日作成）

「家庭」 整理番号N●●●●●●●● その2（手元）録画映像（7月26日作成）

*「整理番号」とは「長崎大学出願確認表」の右上の欄に記載のNから始まる番号のこと。

- (5) 実技の録画映像のほか、所定の『「家庭」課題レポート』を作成して提出してください。レポートには、選択分野（「食物調理」または「被服製作」）を記載し、食物調理の場合は各群で選択した調理名を明記するとともに（被服製作の場合は記載不要）、作製する際に留意した点、次回に向けて解決すべき課題について記述してください。

令和9年度 長崎大学総合型選抜Ⅱ（経済学部）
「自己推薦書」，「諸活動の記録」記載要領

I. 自己推薦書を，下記要領に従って，あなた自身で黒ボールペンを用いて書いてください。

様式1：[次のテーマについて記述してください。記述の際は，テーマの下に書かれていることをよく読み，その指示に従ってください。様式上部のテーマ欄には「経済学部の特徴と卒業後の進路を踏まえた志望理由」と記載してください。]

テーマ **経済学部の特徴と卒業後の進路を踏まえた志望理由**

- ・志望するコースや教育プログラム等の特徴を踏まえて，①入学後に経済学部で学びたいこと，②大学でどのように学び（またはどのような学生生活を送り），それを活かして卒業後どのように活躍したいと考えているか，を記述してください（800字以内）。

II. あなたの諸活動の記録（活動の成績，資格・検定・段位）を，下記要領に従って，あなた自身で黒ボールペンを用いて書いてください。

様式2-i，ii：あなたが行った主要な活動について，分野別，年月日順に記載してください。分野はA「文化」，B「スポーツ」，C「生徒会，学級内の委員・係等」，D「その他ボランティア活動等（国際交流活動，海外留学等を含む。）」です。記入する事項が多い場合は，該当する項目が含まれている用紙をA4判に必要な枚数だけコピーし，記入してください。

- ①(1)2日以上の場合，開始年月日を記載し，カッコ欄に終了年月日も記載してください。
(2)成績や活動が事実であることを証明する書類（表彰状，新聞等の記事，論文，その他）のコピー（A4判に縮小・拡大してください。）を必ず添付してください。(3)団体活動の場合，団体におけるあなたの役割・分担等を簡潔に記入してください。(4)証明書類がどの記載に対応するか判別できるように，証明書類に様式2-i，iiの項目番号（右下に記入）を付けてください。
- ②C「生徒会，学級内の委員・係等」は，高等学校等における活動に限定します。また，高等学校等教諭の署名を必要とします。

様式2-iii：あなたが持っている主要な資格・検定・段位（同一項目で複数の級や段位を持っている場合は，最上位のもののみ。）を記載してください。資格・検定・段位が事実であることを証明する書類（英検・TOEFL・TOEIC等の成績証明書，各種資格取得証明書等）のコピー（A4判に縮小・拡大してください。）を必ず添付してください。証明書類がどの資格・検定・段位に対応するか判別できるように，証明書類に様式2-iiiの項目番号（右下に記入）を付けてください。記入する事項が多い場合は，A4判に必要な枚数だけコピーし，記入してください。

令和9年度 長崎大学総合型選抜Ⅱ（歯学部） 「自己推薦書」記載要領

自己推薦書を，下記要領に従って，あなた自身で黒ボールペンを用いて書いてください。

様式1：[次のテーマについて記述してください。記述の際は，テーマの下に書かれていることをよく読み，その指示に従ってください。様式上部のテーマ欄には「志望理由」と記載してください。]

テーマ 志望理由

- ・長崎大学歯学部の志望理由について，あなたの目指す歯科医師像を踏まえて記述してください（800字以内）。

様式2-i，ii：歯学部においては提出の必要はありません。

様式2-iii：歯学部においては提出の必要はありません。

令和9年度 長崎大学総合型選抜Ⅱ（環境科学部） 「自己推薦書」記載要領

“自己推薦書（様式1）”のテーマ欄には「志望理由」と書き、以下の項目をあなた自身で黒ボールペンを用いて800字以内で書いてください。

- ① 環境に関する関心などについて
- ② 第2次選考でのプレゼンテーション（注1）の内容紹介とそれに関してあなたが取り組んだ事、グループ活動の場合はあなたの役割など。
- ③ 以上を踏まえて本学部を志望する理由。

（注1）プレゼンテーションは、受験者本人が高校入学以降に行った調査研究活動によって得られた知見について、パワーポイント、手元資料、ポスターのいずれかで発表します。時間は8分とします。その活動は、グループ活動も含み、課内、課外、校外での活動を対象とします。グループ活動の場合は受験者の役割や貢献度についての説明をプレゼンテーションに含めてください。なお、実技系活動（スポーツ、音楽、美術等）は対象としません。

（注2）本選抜の出願要件に受賞や報道等の実績がある必要はありません。ただし、そのような実績がある場合は、「自己推薦書」に記載の内容が事実であることを証明する書類（新聞記事、表彰状、その他）のコピー（A4判に縮小・拡大してください。）を必ず添付してください。また、受賞の場合は、「自己推薦書」の文中に参加総数と受賞数を記入してください。なお、校内における受賞は対象としません。

様式2-i, ii, iii, iv：環境科学部においては提出の必要はありません。

共 通 様 式

氏 名	
-----	--

諸活動の記録（様式2-i）

A「文化」

項目番号	年 月 日	懸賞論文・コンクール・展覧会等の名称	主催機関	成 績	団体活動の場合、団体におけるあなたの役割
例 A-1	年 月 日 (～ 年 月 日)				
	年 月 日 (～ 年 月 日)				
	年 月 日 (～ 年 月 日)				
	年 月 日 (～ 年 月 日)				
	年 月 日 (～ 年 月 日)				

B「スポーツ」

項目番号	年 月 日	競技大会等の名称	主催機関	成 績	団体活動の場合、団体におけるあなたの役割
例 B-1	年 月 日 (～ 年 月 日)				
	年 月 日 (～ 年 月 日)				
	年 月 日 (～ 年 月 日)				
	年 月 日 (～ 年 月 日)				

様式2-i () 枚のうち () 枚目

受付番号※	受験番号※
-------	-------

※欄は記入しないこと。

長崎大学

学部

学科

コース

課程

経済学部区分 (I II)
工学部区分 (IA IB)
環境科学部区分 (A B)

氏名	
----	--

諸活動の記録（様式2-ii）

C「生徒会活動，学級内の委員・係等」

項目番号	期 間	学年	活動内容（役割等）	高等学校等教諭の署名
例 C-1	(開始年月日) 年 月 日 (終了年月日) 年 月 日			
	(開始年月日) 年 月 日 (終了年月日) 年 月 日			
	(開始年月日) 年 月 日 (終了年月日) 年 月 日			
	(開始年月日) 年 月 日 (終了年月日) 年 月 日			

※高等学校等教諭の証明欄には，証明者の署名を忘れないこと。

D「その他ボランティア活動等」

項目番号	年 月 日	大会等の名称	主催者など	開催地	成績	団体活動の場合， 団体における あなたの役割
例 D-1	年 月 日 (～ 年 月 日)					
	年 月 日 (～ 年 月 日)					
	年 月 日 (～ 年 月 日)					
	年 月 日 (～ 年 月 日)					

※成績がない場合は，当該欄に斜線を記入すること。

様式2-ii () 枚のうち () 枚目

受付番号※	受験番号※
-------	-------

※欄は記入しないこと。

長崎大学

学部

学科
課程

コース

経済学部区分 (I II)
工学部区分 (IA IB)
環境科学部区分 (A B)

氏 名	
-----	--

諸活動の記録（様式2-iii）

E「資格・検定・段位」

項目番号	取得年月日	資格等の名称	資格等のレベル（○級・○段・○点等）	資格等認定機関の名称	資格等認定機関の住所と電話番号
例 E-1	年 月 日				
	年 月 日				
	年 月 日				
	年 月 日				
	年 月 日				
	年 月 日				
	年 月 日				
	年 月 日				

様式2-iii（ ）枚のうち（ ）枚目

受付番号※	受験番号※
-------	-------

※欄は記入しないこと。

長崎大学

学部

学科
課程

コース

経済学部区分（Ⅰ Ⅱ）
工学部区分（ⅠA ⅠB）
環境科学部区分（A B）

(教育学部)

氏名	
----	--

諸活動の記録 (様式 2 - iv)

F 「その他 (研究や探究活動, 芸術・文化活動等)」

項目番号	期 間	学年	活動内容 (役割等)
F-1	(開始年月日) 年 月 日 (終了年月日) 年 月 日		
F-2	(開始年月日) 年 月 日 (終了年月日) 年 月 日		
F-3	(開始年月日) 年 月 日 (終了年月日) 年 月 日		

受付番号※	受験番号※
-------	-------

※欄は記入しないこと。

(多文化社会学部 グローバル枠志願者のみ)

氏名

課題研究報告書

人文社会科学の観点から取り組んだグローバルな課題研究について、志願者が個人の役割において貢献した成果を具体的かつ明確に記述してください（1000字以内）。なお、以下の1～3の内容について順に記述すること。

1. 課題研究の目的

（課題の目的はなにで、どこまで明らかにしようとした課題研究なのかを記述すること。）

2. 研究方法

（どのように研究課題に取り組んだのか、自分が実施した研究方法について記述すること。）

3. 考察及び結果

（どこまでがこれまでの研究で明らかにされたことであり、どの点が自分で考察した結果なのか、そのプロセスを丁寧に記述すること。）

注) 添付資料がある場合には引用しても良い。

学校が設定したテーマ

--

あなたが取り組んだテーマ

--

(この欄は100字)

課題研究報告書の作成枚数 () 枚のうち (1) 枚目 添付資料の有無 (有 無)

受付番号※

受験番号※

※欄は、記入しないこと。

(多文化社会学部 グローバル卒志願者のみ)

氏 名	
-----	--

課題研究報告書

(この欄は100字)

課題研究報告書の作成枚数 () 枚のうち (4) 枚目 添付資料の有無 (有 無)

受付番号※	受験番号※
-------	-------

※欄は、記入しないこと。

【「音楽」課題レポート（A4サイズで提出すること）】

令和9年度 総合型選抜II

長崎大学教育学部学校教育教員養成課程小学校教育コース（音楽）：「演奏」

学校・学科名	氏名
作品名	作曲者名
<p>（どのような思いをもって演奏したか、演奏する際に留意した点、次回に向けて解決すべき課題について、1ページ以内で記述してください。）</p>	

※1 65 ページを参照のうえ、本用紙に1ページ以内で本人が記入し、他の出願書類と合わせて出願期間内に郵送すること。

※2 65 ページを参照のうえ、別途本人が作成した録画映像（ファイル形式：MP4）を以下 URL にアップロードすること。

URL：https://nudrive.nagasaki-u.ac.jp/public/8AJ7A97AtRANQMjMx0UMy_FuNfoEI6cymyN6k0tfW1DL

【「美術」課題レポート（A3サイズ・横向きで提出すること）】

令和9年度 総合型選抜Ⅱ

長崎大学教育学部学校教育課程小学校教育コース（美術）：「素描」

学校・学科名	氏名	
--------	----	--

※素描作品の現物は郵送しないでください。このレポートのみを提出してください。

1. 鉛筆素描をしてください。

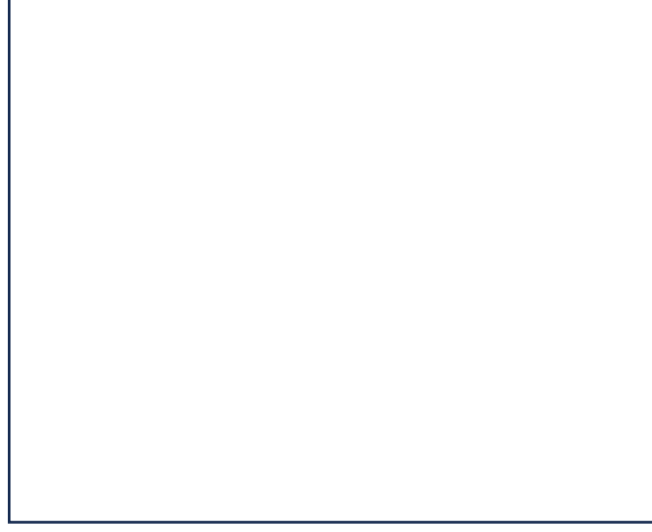
●サイズ：木炭紙大の紙（500mm×650mm） ●モチーフ：任意 ●制作時間：15時間以内（中断・分割して制作可） ●構図は、縦構図のみ ●背景：任意

2. 制作の開始から完成までの過程（指定された時間内）を撮影したものを、下記の枠内へ画像データ貼り付け、併せて、時間毎の到達点と解決すべき課題を記述してください。写真は、描いている手元ではなく、作品全体が画像枠の比率（縦長）に合わせて収まるように撮影してください。

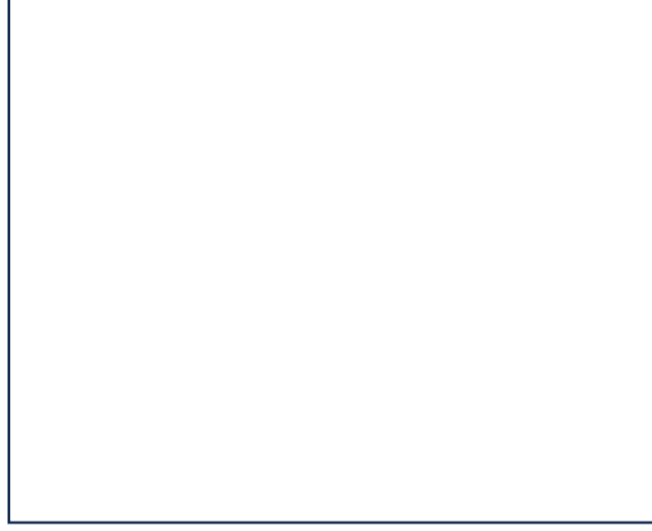
< 3 時間後 >



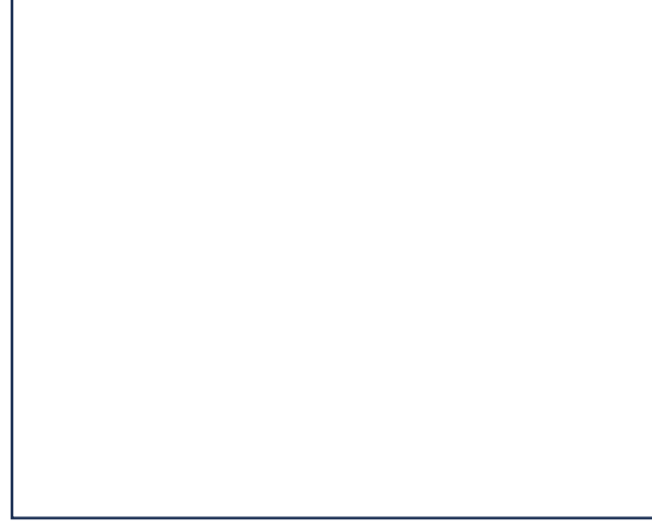
< 6 時間後 >



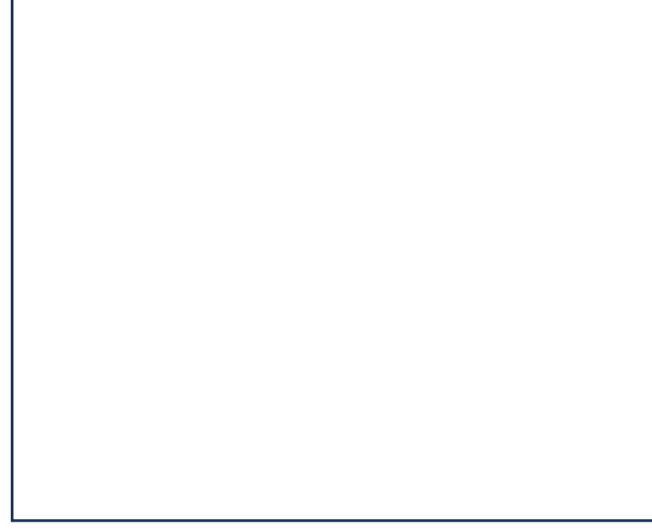
< 9 時間後 >



< 1 2 時間後 >



< 完成時 >



【現段階での到達点について】
(100～150 文字程度。本指示は消すこと)

【この段階での解決すべき課題】
(100～150 文字程度。本指示は消すこと)

【現段階での到達点について】
(100～150 文字程度。本指示は消すこと)

【この段階での解決すべき課題】
(100～150 文字程度。本指示は消すこと)

【現段階での到達点について】
(100～150 文字程度。本指示は消すこと)

【この段階での解決すべき課題】
(100～150 文字程度。本指示は消すこと)

【現段階での到達点について】
(100～150 文字程度。本指示は消すこと)

【この段階での解決すべき課題】
(100～150 文字程度。本指示は消すこと)

【完成時点での到達点について】
(100～150 文字程度。本指示は消すこと)

【次作に向けて解決すべき課題】
(100～150 文字程度。本指示は消すこと)

※ 66 ページを参照のうえ、本用紙に1ページ以内で本人が記入し、他の出願書類と合わせて出願期間内に郵送すること。

【「技術」課題レポート（A3サイズ・横向きで提出すること）】

令和9年度 総合型選抜Ⅱ
 長崎大学教育学部学校教育教員養成課程小学校教育コース（技術）：「ものづくり」
 ※製作品の現物は郵送しないでください。このレポートのみを提出してください。

学校・学科名	氏名
--------	----

「設計レポート」

製品名	
製品の 目的と用途	
製作に用い る 材料	実際に使用する際のことを考え、形状や接合方法の工夫や機能など製品の構造上の特徴を記述してください。
構造上の 特徴 (具体的に に)	「製作品の写真」(3方向から撮影のこと。)
自由記述	

「構想図」

「製作品の写真」(3方向から撮影のこと。)

※ 66 ページを参照のうえ、本用紙に1ページ以内で本人が記入し、他の出願書類と合わせて出願期間内に郵送すること。

【「家庭」課題レポート（A4サイズで提出すること）】

令和9年度 総合型選抜II

長崎大学教育学部学校教育教員養成課程小学校教育コース（家庭）：「実技」

学校・学科名	氏名
選択分野	調理名（※「食物調理」を選択の場合） A 群： B 群：
<p>（作製する際に留意した点，次回に向けて解決すべき課題について，1ページ以内で記述してください。）</p>	

※1 67ページを参照のうえ，本用紙に1ページ以内で本人が記入し，他の出願書類と合わせて出願期間内に郵送すること。

※2 67ページを参照のうえ，別途本人が作成した録画映像（ファイル形式：MP4）を以下 URL にアップロードすること。

URL：https://nudrive.nagasaki-u.ac.jp/public/8AJ7A97AtRANQMjMx0UMy_FuNfoEI6cymyN6k0tfW1DL

大学入学共通テスト指定教科・科目確認表(総合型選抜Ⅱ)

志望する学部・学科等により大学入学共通テストの指定教科・科目が異なるので、十分確認すること。
 なお、大学入学共通テストにおいて、志望する学部・学科等が指定した教科・科目を全科目受験していなければ、本学・学部に出願できないので、十分注意すること。

○印は必須科目を表す。選択科目は選択範囲及び選択数に留意すること。

大学入学共通テスト 教科・科目等		国語		地理歴史、公民			数学①		数学②	理科					外国語					情報			
		国	語	地 理 総 合	歴 史 総 合	歴 史 総 合	地 理 総 合 / 歴 史 総 合 / 公 共	公 共	公 共	数 学 Ⅰ	数 学 Ⅱ ・ 数 学 B ・ 数 学 C	物 理 基 礎 / 化 学 基 礎 / 地 学 基 礎	物 理	化 学	生 物	地 学	英 語	ド イ ツ 語	フ ラ ン ス 語	中 国 語	韓 国 語	情 報	
教育学部	小学校教育コース	○							1選択													○	
経済学部	総合経済学科			(注)						(注4)													
歯学部	歯学科	○		1選択				○	○		2選択							1選択				○	
環境科学部	環境科学科	選抜方法A (文系受験)	○	1選択				1選択	○		1選択							1選択				○	
		選抜方法B (理系受験)	○	1選択					○	○		1選択							1選択				○

※「地理総合／歴史総合／公民」及び「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」については2つを選択解答するため、選択解答した2つを1科目として採用する。
 (注)国語,「地理歴史,公民」,数学①(数学Ⅰを除く。),数学②,理科,外国語,情報から2科目選択。

大学入学共通テスト受験教科・科目チェック表

(受験する教科・科目全てに○印を付けて確認すること。)

大学入学 共通テスト 教科・科目等		国語		地理歴史、公民			数学①		数学②	理科					外国語					情報		
		国	語	地 理 総 合	歴 史 総 合	歴 史 総 合	地 理 総 合 / 歴 史 総 合 / 公 共	公 共	公 共	数 学 Ⅰ	数 学 Ⅱ ・ 数 学 B ・ 数 学 C	物 理 基 礎 / 化 学 基 礎 / 地 学 基 礎	物 理	化 学	生 物	地 学	英 語	ド イ ツ 語	フ ラ ン ス 語	中 国 語	韓 国 語	情 報
受験する科目																						

総合型選抜以外の 募集要項 公表時期

一般選抜学生募集要項 (11月下旬公表)	
学校推薦型選抜学生募集要項 (9月上旬公表)	<p>※ 左記の時期に下記のURLに募集要項を掲載いたします。 (掲載先URL) https://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/selection/#02</p>
帰国生徒選抜学生募集要項 (7月上旬公表)	<p>※ 冊子等の紙媒体での配布等はいたしません。 出願書類準備の際は、各自でご準備ください。</p>
社会人選抜学生募集要項 (9月上旬公表)	<p>※お問い合わせ先 〒 852-8521 長崎市文教町1番14号 長崎大学学生支援部入試課 TEL. 095-819-2111 FAX. 095-819-2112</p>
外国人留学生選抜学生募集要項 (9月上旬公表)	